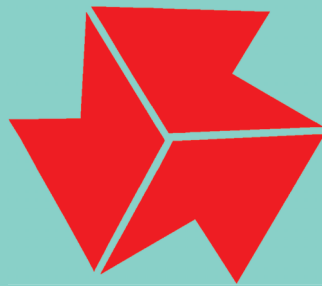


令和 8 年度
東京都高等学校体育連盟
弓道専門部必携



顧問ならびに生徒代表は、大会参加の際、
必ず本冊子を持参すること。

東京都高等学校体育連盟
弓道専門部事務局

<https://www.kyudo-tokyo.jp/>
https://x.com/kyudo_tokyo

は し が き

この冊子は令和8(2026)年度東京都高等学校体育連盟弓道専門部の行事实施に関する事項をまとめたものです。

各校の顧問の先生はこの必携により大会運営の内容を理解され、生徒の指導に遺漏のないようお願い申し上げます。

とりいそぎ編集しましたので至らぬ点多々あるかと思いますが、今後もこれを基本として逐次積み重ね、よりよいものを作りたいと思いますのでご指導、ご協力の程、よろしくようお願い申し上げます。

東京都高等学校体育連盟
弓道専門部 事務局

目 次

1. 弓道専門部の沿革概要
2. 過去5ヶ年の大会記録
3. 東京都高等学校体育連盟弓道専門部規約
4. 高等学校体育連盟弓道選手登録・大会参加申込手順
5. 令和8年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 大会関係
 - (1) 大会運営申し合せ事項
 - (2) 大会日程
 - (3) 関連大会等
 - (4) 行事予定
6. 令和8年度 東京都高等学校体育連盟主催弓道大会
 - (1) 業務分担表・業務内容
 - (2) 大会実施要項
7. 令和8年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部
 - (1) 役員表・問い合わせ先・組織図
 - (2) 加盟校一覧
 - (3) 大会立順票
 - (4) 選手交代届

弓道専門部の沿革概要

〈沿革概要〉

* 都高体連加盟の頃の状況と藤沢茂兵衛先生 *

公式の文書が見当たらないので加盟の運動に参加した市川隆三先生（元日体荏原高顧問）の手書き、高体連事務局長の田代清三郎先生（両国高）の談話、日弓連の三十周年記念特別号、全国高体連の四十年史、全国高体連弓道専門部の弓道二十年史、弓道三十年史を参照して書いてみる。年表にあるように、昭和26年、学校弓道が復活した。

(1) 昭和27年の秋から昭和28年の春と秋に下記の7校が当番校をきめ、リーグ戦形式で練習試合をする。早大学院、慶應義塾、法政第二、目黒、八潮、忍岡、日体荏原（他に高田外語、調布もメンバーに入れる）

(2) 昭和29年春、忍岡高校の弓道部顧問の藤沢茂兵衛先生より高校単位で公私関係なく17校以上まとまれば高体連に加盟して弓道専門部を発足することができるとの相談があった。

都立校は藤沢先生、私立校は市川先生が分担して、参加を督促した。

(3) 昭和29年7月、第1回の相談連絡会を、続いて昭和29年10月31日に発会式を、いずれも日体荏原高で実施。

(4) 高体連の加盟手続は藤沢先生が中心になり軌道にのってからは、八潮高校の河治先生が協力し、昭和31、32年頃の運営実務は河治先生が当たった。

以上が設立の事情であるが、藤沢茂兵衛先生については、前記の日弓連の村上久先生が「小遣い金を全部投入して世話した」と激賞している。勿論私達も先生の死後、昭和49年から52年まで「藤沢賞大会」を設け、その徳を偲んだ。

当時の歴史は改めて調査したいと思っている。（本文は「高体連四十年史」より抜粋）

川又杯について

昭和56年度から平成5年度まで長らく委員長を務められていた川又之裕先生が、平成9年7月に逝去されました。

先生は弓道界とはまったく無縁であったにもかかわらず、その類い稀な行動力で弓道専門部の運営、学校弓道の普及に尽力され、関東個人選手権選抜大会や中学校大会の創設に貢献されるなど、弓道専門部に多くの功績を残されています。

在りし日の先生をご存じの方にもそれぞれの思い出があることと思いますが、弓道専門部では先生の遺徳を偲んで平成10年度に川又杯を新設しました。（日体荏原高 篠原清三郎）

年度	部長	記事
S 20		11月 文部次官通牒により武道の授業中止となる
S 21		11月 大日本武徳会解散命令
S 24		5月 日本弓道連盟結成される
S 26		7月 文部次官通知により学校における弓道の実施許可される
S 27		2月 文部省主催「学校弓道講習会」開催（会場は皇居内済寧館） 弓道指導の手引き刊行
S 30		全国高体連に弓道専門部設置
S 31		東京都高体連に弓道専門部設置 8月10日 全国代表者会議 事務局長に藤沢茂兵衛 8月11・12日 第1回全国高校弓道大会（甲府市県営弓道場）
S 36		第5回関東大会（新宿区区営弓道場）
S 37		第6回関東大会 個人女子の部 優勝（都立八潮）
S 40		第9回関東大会（東京都駒沢オリンピック公園弓道場）
S 41		第10回関東大会 団体男子の部 優勝（國學院久我山）
S 42	石塚智一（桜水商業）	委員長：大野惣次郎（桜水商業）
S 43		6月 都連と協議会
S 44		第13回関東大会 個人女子の部 優勝（頌栄女子学院） 10月 長崎国体出場（総合5位）國學院大學久我山高校
S 45	羽山正二（桜水商業）	8月 第1回全国教職員大会（伊勢）
S 46		第1回個人選手権大会（毎日新聞社後援）
S 47		6月 第16回関東大会（駒沢体育館） 個人男子の部 優勝（城北学園） 個人女子の部 優勝（都立三田）
S 48	吉田繁隆（桜水商業）	次年度より参加料（個人 400円）
S 49		藤沢賞大会

年度	部 長	記 事
S 53 S 55	西山 正 (桜水商業)	大会会場が明治神宮至誠館になる 6月 第24回関東大会 (多摩スポーツ会館弓道場) 個人男子の部 優勝 (國學院久我山)
S 56 S 57	荒川 潤 (両 国) 羽部英二 (両 国)	委員長: 川又之裕 (両国) 9月 第1回関東高校弓道個人選手権選抜大会 (至誠館) 1月 第1回全国高校弓道選手権大会関東地区予選会 (浜町弓道場) 3月 第1回全国高校弓道選手権選抜大会 (至誠館)
S 58 S 59	諏訪部憲一 (館) 斉藤 克 (芝 商 業)	3月 第2回全国高校弓道選手権選抜大会 (至誠館) 11月 第3回関東高校選抜大会 第3回全国高校弓道選手権選抜大会 (至誠館)
S 60 S 61 S 62	大滝和一 (忍 岡)	1月 第1回東京都中学校弓道大会 (日本大学弓道場) 12月 東京都中学高校教員研修 6月 第31回関東大会 団体男子の部 優勝 (日体荏原) 7月 第25回関東教職員弓道大会 (至誠館)
S 63		6月 第32回関東大会 (至誠館) 9月 関東個人 女子の部 優勝 (忍岡)
H 1 H 2	加藤正春 (日体荏原)	東京武道館完成・使用開始 9月 関東個人 女子の部 優勝 (國學院久我山) 8月 第35回全国総体 個人男子の部 優勝 (早稲田実業)
H 3 H 4	鈴木 渉 (芝浦工大)	都総体の優勝旗が完成する 9月 関東個人 男子の部 優勝 (早稲田実業) 3月 第10回全国高校弓道選抜大会 (至誠館) 弓道専門部必携作成・配布
H 5 H 6		3月 第11回全国高校弓道選抜大会 (至誠館) 9月 関東個人 女子の部 優勝 (北多摩) 3月 第12回全国高校弓道選抜大会 (至誠館) 委員長: 田中直日 (國學院久我山)
H 7 H 8 H 10	田中直日 (國學院久我山)	3月 第13回全国高校弓道選抜大会 (至誠館) 9月 第14回関東個人選手権が台風のため競技中止となる 2月 第1回親善交流団がアメリカへ派遣される 3月 第14回全国高校弓道選抜大会 (至誠館) 6月 第40回関東大会 (至誠館) 団体男子の部 優勝 (日体荏原) 委員長: 神津秀章 (目白学園)
H 11		6月 第42回関東大会 個人女子の部 優勝 (國學院久我山) 都個人選手権大会に川又杯新設 9月 関東個人 女子の部 優勝 (國學院久我山) 6月 第43回関東大会 個人男子の部 優勝 (都立八潮) 個人女子の部 優勝 (國學院)
H 12 H 14	川福基之 (國學院久我山) 村井信彦 (明 正)	9月 関東個人 女子の部 優勝 (駒沢女子) 10月 第2回親善交流団がフランスへ派遣される 明治神宮至誠館第二弓道場完成 3月 第20回全国高校弓道選抜大会 (至誠館第二弓道場) 9月 関東個人 女子の部 優勝 (吉祥女子) 弓道専門部ホームページ開設
H 15 H 16		第46回関東大会 団体女子の部 優勝 (都立八潮) 3月 第22回全国高校弓道選抜大会 (至誠館第二弓道場) 6月 第48回関東大会 (至誠館第二弓道場) 3月 第23回全国高校弓道選抜大会 (至誠館第二弓道場)
H 17 H 18 H 19 H 21	白井 勝 (吉祥女子) 野中英雄 (目白研心)	委員長: 杉山浩司 (科技学園) 9月 関東個人 女子の部 優勝 (吉祥女子) 9月 関東個人 男子の部 優勝 (早大学院) 委員長: 神津秀章 (目白研心) 9月 関東個人 女子の部 優勝 (吉祥女子)
H 22		3月 全国選抜大会 女子の部 団体優勝 (慶應義塾女子) 国体選手の選抜方法を変更 9月 関東個人 女子の部 優勝 (吉祥女子) 女子1~3位独占
H 23		2月 学年別大会に替え、遠的大会を創設 6月 第55回関東大会 (至誠館第二弓道場) (東日本大震災のため開催地を茨城県より東京都に変更)

年度	部 長	記 事
H24	野口敏朗(東)	6月 第56回関東大会 (至誠館第二弓道場) 全日本勤労者弓道選手権大会 (小金井公園弓道場)
		8月 第43回全日本教職員弓道選手権大会 (至誠館第二弓道場) 東京都・千葉県・栃木県と共催
H25		10月 国体遠的競技 女子の部 4位入賞 委員長：柏木浩之 (東)
		9月 関東個人 男子の部 優勝 (早大学院)
		9月～10月 第68回国民体育大会 (スポーツ祭東京) 弓道競技 (小金井公園弓道場)
H26		3月 遠的大会 大雪のため近的に変更
		8月 全国総合体育大会 (東京武道館特設弓道場)
H27		9月 関東個人 デング熱のため中止
H27		9月 関東個人 女子の部 優勝 (文大杉並)
		3月 遠的大会 強風のため近的に変更
H28	余湖浩一(東)	10月 国体遠的競技 男子の部 5位入賞
H29		12月 第35回全国選抜大会 個人女子の部 優勝 (東) 委員長：松崎賢一 (芦花・R1より翔陽)
		12月 創立60周年記念祝賀会 (宝仙学園)
		第36回全国選抜大会 個人女子の部 優勝 (桜修館)
H30		10月 国体遠的競技 女子の部 優勝
R 1	榎 茂喜(翔 陽)	7月 第57回 関東教職員弓道大会 (東京武道館)
		9月 関東個人 女子の部 優勝 (慶應義塾女子)
		10月 国体遠的競技 男子の部 準優勝
R 2		12月 第38回全国選抜大会 団体男子の部 優勝 (芦花) 以下、新型コロナウイルス感染予防のため中止 関東大会東京都予選会・関東大会・東京都総合体育大会 東京都個人選手権大会・関東個人選手権選抜大会 都遠的大会
R 3		9月 東京都総合体育大会の代替としてTokyo Thanks Match開催 公式戦を男女各予選と男女決勝の3日間開催として実施 出場校顧問による大会運営業務拡大
R 4		8月 紫灘旗全国遠的大会優勝 (日体大桜華)
R 5	平野康弘 (明星学園)	8月 全国総合体育大会 個人男子の部 優勝 (早大学院)
		9月 第43回関東高等学校弓道個人選手権大会 女子の部 優勝 (東)
		10月 国体遠的競技 男子の部 8位入賞
R 6		12月 第42回全国高校弓道選抜大会 (東京武道館 大武道場)
		9月 関東高等学校弓道個人選手権選抜大会を名称変更 第44回関東高等学校弓道個人選手権大会 男子の部 優勝 (東海大学菅生) 女子の部 優勝 (芦花)
		10月 国民スポーツ大会 (旧・国民体育大会) 女子の部 遠的競技7位入賞・近的競技3位入賞
		11月 第1回関東選抜高等学校弓道大会 (東京武道館 弓道場) 個人女子の部 優勝 (芦花)
R 7	山下雄司 (東)	6月 第69回関東高等学校弓道大会 個人女子の部 優勝 (芦花)

過去5ヶ年の記録 (男子)

大会名	種目	順位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
関東大会 東京都予選会	団体	1位	東海大学菅生	東修 桜井	東海大学菅生 早稲田大学高等学院	東海大学菅生 東芝浦工業大学附属城北	井昭明 和星第学草一園	
		2位	芝浦工業大学附属修	菅生	菅生	菅生	菅生	
		3位	菅生	菅生	菅生	菅生	菅生	
	個人	1位					須藤高田村川島高浦	横高岩堀船中小井
		2位					藤橋田村川島高浦	山橋田田木村嶋上
		3位					匠英太輝直瑞健和	理智匠晋 友殊拓
		4位					海馬斗弘樹太馬	生人生吾陽哉生海
		5位					(東海大学菅生) (井早稲田実業) (早稲田大学高等学院) (井草) (城北学園城北) (東)	(東海大学菅生) (井明星学園) (早稲田) (目黒学院) (早稲田大学高等学院) (杉並総合)
都総合体育大会 (インターハイ予選)	団体	1位	美桜井	桜東海大学菅生	早稲田大学高等学院	東城北学園城北	井芦海	
		2位	修	菅生	菅生	菅生	菅生	
		3位	菅生	菅生	菅生	菅生	菅生	
	個人	1位	佐々木元海	宮川瑛太郎	佐藤村部	長田昂大志	大蛭窪岸里中宮田明	
		2位	山相良中田野	田上真連	奥岡布谷孝太郎	吉生樋口野藤尾島	部田川村村中萩原	
		3位	元暖賢恒	久翔斗司	希樹樹士	弥拓翔智樹	賢侑友哉	
		4位	海生悟成一遥	美修館	蒼紀來太郎	大志登弥想翔智樹	明絆昊人哉	
		5位	菅生	菅生	菅生	菅生	菅生	
東京都 個人選手権大会	個人	1位	富沢昇吾	橋川優祐	原新島篤篤	田中統真	高橋伶多	
		2位	末末希真	川上裕也	島森伶字	早田健太郎	吉澤村芳樹	
		3位	澁屋太郎	原中村國合	日佐藤勇之	堀龍之介	内堀龍之介	
		4位	宮川瑛太郎	三河合子	小嶋陽翔	窪田瑠琥	立狩野田	
		5位	机佐藤大創	金子靖和	木山吉植	奥ノ矢皓司	原野田悠一	
		6位	佐和田中	野口村藤島野	細山谷岡野	高橋采生	伊藤田一	
		7位	鎌田有論	奥齋新野	横山真拓	日比勇輝	和宮沢峰	
		8位	田中大海	野口村藤島野	細山谷岡野	高橋采生	伊藤田一	
		9位	鎌田有論	奥齋新野	横山真拓	日比勇輝	和宮沢峰	
		10位	杉志高竹	野口村藤島野	細山谷岡野	高橋采生	和宮沢峰	
		11位	志高竹内	野口村藤島野	細山谷岡野	高橋采生	和宮沢峰	
		12位	内山沢	野口村藤島野	細山谷岡野	高橋采生	和宮沢峰	
		13位	大相山	野口村藤島野	細山谷岡野	高橋采生	和宮沢峰	
		14位	相山沢	野口村藤島野	細山谷岡野	高橋采生	和宮沢峰	
		15位	沢山沢	野口村藤島野	細山谷岡野	高橋采生	和宮沢峰	
		16位	山沢	野口村藤島野	細山谷岡野	高橋采生	和宮沢峰	
		17位	澤山沢	野口村藤島野	細山谷岡野	高橋采生	和宮沢峰	
		18位	小森	野口村藤島野	細山谷岡野	高橋采生	和宮沢峰	
		19位	高井	野口村藤島野	細山谷岡野	高橋采生	和宮沢峰	
		20位	高井	野口村藤島野	細山谷岡野	高橋采生	和宮沢峰	
東京都 秋季大会	団体	1位	東海大学菅生	井早稲田	城北学園城北	翔東東海	明玉芦星学園	
		2位	菅生	菅生	菅生	菅生	菅生	
		3位	菅生	菅生	菅生	菅生	菅生	
	個人	1位	富近藤	北新加中	藤鈴高松	長前石橋	植田吉波	
		2位	藤田千博	垣藤村川	鷹木野本	田澤翔太	木中澤邊	
		3位	昇千博	和太	暉陽	昂拓太	賢蒼隼俊	
		4位	吾響博郎	義規權楓	士翔翼士智	大海朗	大士輝玄太	
		5位	(東海大学菅生)	(早稲田大学高等学院)	(城北学園城北)	(江戸学園)	(井明星学園)	
		6位	(桜修館)	(翔)	(明星学園)	(東京成徳大学)	(錦川学園)	
		7位	(菅生)	(美)	(井)	(文化学園)	(城北学園城北)	
8位	(立正大学附属立正)	(早稲田大学高等学院)	(早稲田大学高等学院)	(晴海総合)	(昭和第一)			
9位	(東海大学菅生)	(早稲田大学高等学院)	(早稲田大学高等学院)	(美)	(東海大学附属高輪台)			
10位	(菅生)	(菅生)	(菅生)	(菅生)	(菅生)			

過去5ヶ年の記録 (男子)

大会名	種目	順位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
東京都 新人大会	団体	1位 2位 3位 3位	東海大学菅生 桜東海大学菅生 東海大学菅生 東海大学菅生	東海大学菅生 城北学園城北 東海大学菅生 東海大学菅生	井海大学菅生 東海大学菅生 東海大学菅生 東海大学菅生	井海大学菅生 東海大学菅生 東海大学菅生 東海大学菅生	東海大学菅生 城北学園城北 東海大学菅生 東海大学菅生
	個人	1位 2位 3位 4位 5位	宮川瑛太郎(桜修館) 光武総一郎(海城)	坂井隼(東海大学菅生) 原慎篤(城北学園城北)	山田成恩(海城) 野野成恩(東海大学菅生) 中野祐介(早稲田) 坂岡慶晃(早稲田)	長田昂大(城北学園城北) 田中野倉谷輝(早稲田) 小佐倉谷輝(早稲田)	須吉田尚樹(早稲田) 内堀龍之介(海城) 内堀龍之介(海城)
東京都 遠的大会	団体	1位 2位 3位	東海大学菅生 東井菅 東海大学菅生	城北学園城北 東井菅 東海大学菅生	東海大学菅生 東井菅 東海大学菅生	城北学園城北 東井菅 東海大学菅生	東海大学菅生 城北学園城北 東海大学菅生
	個人	1位 2位 3位 4位 5位	近藤海斗(東海大学菅生) 藤中佳樹(城北学園城北) 遠藤友志(井草) 前垣友太(井草)	原新島慎篤(城北学園城北) 藤鷹暉士(井草) 新垣太規(井草) 本菅琴己(井草)	小嶋勇之介(東海大学菅生) 中島航太(翔陽) 芝花遼(芦花) 小林洋二郎(江戸川)	長田昂大(城北学園城北) 高橋智空(井草) 浅田永生(城北学園城北) 工藤高橋宗太(桜修館)	内堀龍之介(海城) 井上拓海(翔陽) 増田哲大(海城) 吉田菜太朗(海城)

上部大会

大会名	種目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
関東大会	団体	ベスト16 東海大学菅生	ベスト16 芦花			
	個人					7位 横山理生(東海大学菅生) 8位 船木陽(目黒学院) 決勝進出 岩田匠生(明星学園)
インターハイ	個人	8位 山口暖生(桜修館)		ベスト32 東 優勝 佐藤 蒼(早稲田大学高等学院)		準決勝進出 大部浩明・蛭田智絆
関東個人選手権 (選抜)大会	個人	4位 田中海斗(國學院大學久我山) 7位 宮川瑛太郎(桜修館) 決勝進出 鎌田有人・澤井悠吾 準決勝進出 澁屋太紀・山川悠斗	5位 奥村元紀(早稲田大学高等学院) 決勝進出 原 慎篤・三國央人 準決勝進出 川上裕也・金子 慧 齋藤壱拓・野崎 天	準決勝進出 小嶋勇之介・鈴木陽翔 細山優真・村岡拓哉	優勝 窪田 昊(東海大学菅生) 準決勝進出 早田健太郎・長田昂大	決勝進出 吉澤 輝・加藤 翼 準決勝進出 品村芳樹・大部浩明
関東選抜大会	団体					
	個人				決勝進出 小田桐幸矢 準決勝進出 長田昂大・齋藤陽翔	
全国選抜大会	個人	ベスト32 東海大学菅生 準決勝進出 富沢昇吾・近藤 響	決勝進出 新垣太規 準決勝進出 北之和義	ベスト32 東海大学菅生 準決勝進出 高野 翼	準決勝進出 長田昂大・前澤拓海	
紫灘旗全国高校 遠的弓道大会	団体		3位 芦花		3位 翔陽	
東日本大会	3人制	ベスト8 東海大学菅生		ベスト8 東海大学菅生 ベスト16 城北学園城北	ベスト16 井草	3位 城北学園城北
	5人制	ベスト16 東海大学菅生	ベスト16 東海大学菅生	ベスト16 東海大学菅生 ベスト16 城北学園城北 井草	ベスト8 井草	ベスト16 東
国民体育大会 令和5年から国民スポーツ大会	成績 選手名	田中海斗・澁屋太紀・中河俊翼・佐藤大介	近藤 響・森田千博・田中海斗・新島伶唯	遠的の部・8位 新垣太規・鈴木陽翔・三本菅琴己・藤鷹暉士	小嶋勇之介・吉野銀志・藤鷹暉士・田中統真	長田昂大・杉本大昌・須藤匠海・内堀龍之介

過去5ヶ年の記録(女子)

大会名	種目	順位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
東京都 新人大会	団体	1位 2位 3位 3位	東 翔井 陽花草	吉翔 祥 女子 東	桜 修 館 吉玉 祥川 女子園	東 修 桜井小 館花草	東海大 学 菅 生 東 学 院 花
	個人	1位 2位 3位 4位 5位	今川 桃寧(小 岩)	東山 平 夢 叶(芦 花) 黒松 田 崎 桃 寧(東海大付属高輪台陽) 本 唯	山田 乃 愛(吉祥女子) 川上 佳 華(井 草) 岩 瀬 さ や 美 来(芦 花)	野本 芽 結(美 学 大 学 杉 草) 赤司 こ あ き (井 井)	藤本 咲 俐(芦 花) 坂丸 心 月(竹 東 修 館) 金丸 凜 春子(桜 東) 河田 和 田 アイリス さくら (東)
東京都 遠的大会	団体	1位 2位 3位	東 翔日本体育大学 桜華	芦吉 祥 女子 花子	桜 修 館 芦翔 花陽	東 芦小 花岩	吉 祥 女 子 東海大 学 菅 生
	個人	1位 2位 3位 4位 5位	白根 瑞季(東 花) 笹木 歩花(翔 陽) 田中 楓乃(井 草) 金子 英里香(東 花) 小村 菜月(東 花)	金子 未依奈(美 原) 白根 瑞季(東 東) 平内 愛梨(東 東) 駒崎 理子(葛 飾 総 合) 松 瀬 天 愛(芦 花)	山本 菜々子(桜 修 館) 小嶋 絢音(芦 花) 山田 桃 子(翔 陽) 小原 雪 菜(東海大 菅 生) 岡部 愛 依(慶應義塾女 子)	佐々木 美羽(美 原) 山崎 莉奈(東 東) 平松 優 子(井 草) 柳井 倫 子(慶應義塾女 子) 岡本 蘭(芦 花)	中岩 鍛 峯 田 咲 山本 治 杏 樹 八 本 治 樹 王 本 咲 俐(芦 花)

上部大会

大会名	種目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
関東大会	団体	ベスト 8 桜 修 館 ベスト 16 東海大学菅生	ベスト 16 美 原	ベスト 16 東	ベスト 8 東 花	3 位 芦 花
	技能優秀		白根 瑞季(東 東)		団体：芦 花・東	団体：芦花 個人：松永ひなた・竹山明香里(芦花)
	個人	5位 三橋結子(桜 修 館)		3位 白根瑞季(東 東) 4位 松瀬天愛(芦 花)		優勝 松永ひなた(芦 花) 4位 竹山明香里(芦 花)
インターハイ	団体			ベスト 32 東	ベスト 16 井 草	ベスト 32 桜 修 館
	個人			決勝進出 平内愛梨		3位 松永ひなた(芦 花)
関東個人選手権(選抜)大会	個人	4位 キアニ希花(東 東) 決勝進出 佐藤心音 準決勝進出 清水花帆・小嶋涼楓	準決勝進出 山縣 燦・岡本 のどか	優勝 白根瑞季(東 東) 5位 山本菜々子(桜 修 館) 決勝進出 岩瀬さやか・鳥羽美衣 川上佳華	優勝 齋藤海月(芦 花) 5位 山崎莉奈(東 東) 決勝進出 岡本 蘭・小嶋絢音	3位 柳井倫子(慶應義塾女子) 決勝進出 西井莉音 準決勝進出 杉山桜香・永井菜奈 小野寺美緒
関東選抜大会	団体				ベスト 8 芦 花	ベスト 8 東 花
	個人				優勝 杉山桜香(芦 花) 3位 齋藤海月(芦 花) 準決勝進出 佐分海恋・山崎莉奈	準決勝進出 松林美咲
全国選抜大会	団体		3 位 東	ベスト 32 桜 修 館	ベスト 32 芦 花	ベスト 16 芦 花
	個人			準決勝進出 亀山侑華	準決勝進出 松永ひなた・齋藤海月	
紫灘旗全国高校 遠的弓道大会	団体		優 勝 日本体育大学桜華	3 位 芦 東 花	3 位 芦 東 花	3 位 小 岩 原
東日本大会	3人制	ベスト 8 芦 花		ベスト 8 東 東 花 ベスト 16 桜 修 館 " 吉祥 女子	3 位 桜 修 館 射道優秀賞 桜 修 館 ベスト 16 東 東	ベスト 16 東
	5人制	ベスト 16 芦 東 花	ベスト 16 翔 吉 祥 女 子	ベスト 8 東	ベスト 16 桜 修 館 " 東	ベスト 16 東
国民体育大会 令和5年から国民スポーツ大会	成績 選手名				遠的の部 7位・近的の部 3位	
		財満奈穂・堀部加奈・三橋結子・柴田来海	金子未依奈・中村琴音・白根瑞季・金子英里香	小村菜月・松瀬天愛・白根瑞季・星野瑞季	小山愛莉・山本菜々子・小嶋絢音・杉山桜香	杉山桜香・弦間美優・小林美愛・河田凜子

東京都高等学校体育連盟弓道専門部規約

第1章 名称及び事務局所在地

第1条 本専門部は東京都高等学校体育連盟弓道専門部と称する。

第2条 本専門部の事務局は部長または副部長の在任校におく。

第2章 目的・事業

第3条 本専門部は東京都高等学校体育連盟の規約に基づき、関係団体と提携し、高等学校における弓道の健全な発展を図ることを目的とする。

第4条 本専門部は第3条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 高等学校における弓道の指導講習会の開催
2. 高等学校弓道大会の開催
3. 関係団体との連絡
4. その他目的達成に必要な事項

第3章 組織

第5条 本専門部は東京都高等学校体育連盟規約第6条によって組織する。

第6条 本専門部は都内高等学校および中等教育学校後期課程弓道部をもって構成する。

第4章 役員

第7条 本専門部に次の役員をおく。

1. 部長 1名（校長を原則とする）
2. 副部長 若干名
3. 常任委員 若干名
4. 顧問 若干名
5. 参与 若干名
6. 委員 若干名
7. 会計監査 2名

第8条 部長及び副部長は専門部総会において推挙し、東京都高等学校体育連盟理事会の議を経て、会長がこれを委嘱する。

1. 部長は専門部を代表し、会務を総括する。
2. 副部長は部長を補佐し、部長事故あるときは、その職務を代行する。
3. 常任委員は委員の互選により、教職員より選出する。
4. 委員は加盟校の当該クラブ顧問（教職員）、生徒より各1名を選出する。
5. 顧問は長年高等学校体育連盟弓道専門部の業務に尽力し、原則として部長または副部長をつとめた者の中から専門部総会の推挙により部長が委嘱する。顧問は専門部の運営に関し、部長の諮問に応じる。
6. 参与は長年高等学校体育連盟弓道専門部の業務に尽力し、原則として常任委員をつとめた者の中から専門部総会の推挙により部長が委嘱する。参与は専門部の運営に関し、部長の諮問に応じる。

第9条 役員の任期は2ケ年とする。但し、重任を妨げない。補欠によって就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第5章 会 議

第10条 本専門部に次の会議をおく。

1. 専門部総会
2. 常任委員会
3. 顧問・参与・常任委員会

第11条 専門部総会は年1回部長が招集し、次の事項について審議する。

1. 決算の承認及び予算に関する事項
2. 事業に関する事項
3. その他重要な事項

第12条 常任委員会は部長が招集し、委嘱された事項及び緊急な事項について審議し処理する。

第13条 顧問・参与・常任委員会は部長が招集し、委嘱された事項及び緊急な事項について審議し処理する。

第6章 会 計

第14条 本専門部の経費は男女それぞれ加盟費10,000円及び寄付金をもってあてる。

第15条 本専門部の予算、決算は専門部総会の議を経て、東京都高等学校体育連盟理事会の承認を得るものとする。

第16条 本専門部と会計年度は、東京都高等学校体育連盟規約に準ずる。

第17条 本専門部の会計業務は会計担当者の所属校におく。

第7章 附 則

第18条 本規約は平成4年4月1日より実施する。

高等学校体育連盟弓道選手登録

選手登録は各校の顧問が責任をもって必ず実施してください。

選手登録は、顧問から選手登録担当者への、選手登録ファイルの提出により行います。今年度の更新登録は昨年度の3月に完了しています。顧問の異動などで引き継ぎがなされていない場合は総会後にお問い合わせください。新入部員による追加登録については下記を参照してください。

なお、**【重要】選手登録を行っていない選手は、都大会への出場資格がありません。**関東大会都予選会は3月中の新規提出締切日まで、他の公式戦はそれぞれの大会申込締切日までに選手登録を完了しないと、その公式戦には出場できません。

選手登録ファイル提出期限

(ア) 更新登録

毎年3月中です。ここで選手登録をしない選手は、4月の関東大会東京都予選に出場できません。前年度1・2年生データを、新年度2・3年生データとして選手登録してください。中高一貫校は前年度中3生の継続部員を新年度1年生として選手登録してください。**この作業は、前年度顧問が責任をもって行い、新年度顧問に選手登録ファイルを引き継いでください。**

(イ) 追加登録

更新提出（ア）以降のデータの追加は**随時受け付け**ます。データ追加は、提出した選手登録ファイルに追加入力して上書きし、再度提出してください（入力追加のみとし、**退部者や転出者がいても、削除などは行わないでください**）。

【新入部員特例措置】

新入部員が弓道経験者で、関東大会東京都予選に出場させたい場合には、大会3日前までに（イ）追加提出の要領で選手登録してください。ただし、この特例措置は**新入部員に限り**ます。中高一貫校の継続部員は対象外です。

公式戦（関東大会都予選会を除く）の大会申込締切日までに（追加登録（イ）にて）選手登録を完了しないと、その公式戦には出場できません。

新年度新入部員の選手登録は、都個人選手権申込締切日までに完了してください。

加盟費の納入について

東京都高体連加盟費

私立高校・国立高校 ⇒ 男子校・女子校は、各10,000円
共学校は、20,000円
都立高校 ⇒ 東京都が負担するので、各校からの払込の必要なし

全国高体連弓道専門部加盟費

都立高校・私立高校・国立高校 ⇒ 男子校・女子校は、各2,000円
共学校は4,000円

【払込用紙・払込期間・領収書の発行について】

- ✓ 必携と一緒に配布した「払込取扱票（払込票兼受領証）」にて4月中にお支払いください。
- ✓ 領収書につきましては、すべての加盟校の支払い確認し東京都総合体育大会団体予選の受付の際に配布します。
- ✓ 4月の関東大会都予選の際に受取りたい方は個別に会計までご連絡ください。

私立校・国立校の記入例（女子校の場合） 共学校は、24,000円。

払 込 取 扱 票										振替払込請求書兼受領証							
00		口座記号		口座番号		金額		千:百:十:万:千:百:十:円		001304		707395		金額		千:百:十:万:千:百:十:円	
		001304		707395		¥12000						707395		金額		千:百:十:万:千:百:十:円	
加入者名		東京都高等学校体育連盟弓道専門部								料		金		備		考	
加盟登録費										料		金		備		考	
学校名 (学校番号)		私立国立高等学校 (00)								料		金		備		考	
東京都高体連		男子		有		無		0円		料		金		備		考	
加盟登録費		女子		有		無		10,000円		料		金		備		考	
全国高体連		男子		有		無		0円		料		金		備		考	
加盟登録費		女子		有		無		2,000円		料		金		備		考	
振		込		日		計		12,000円		料		金		備		考	
おとこ		おなまえ		日		附		印		料		金		備		考	
(ご連絡先電話番号)				日		附		印		料		金		備		考	
ご依頼人欄に、おとこ・おなまえをご記入ください。				日		附		印		料		金		備		考	
これより下部には何も記入しないでください。				日		附		印		料		金		備		考	

都立校の記入例（共学校の場合） 別学校は、2,000円。

払 込 取 扱 票										振替払込請求書兼受領証							
00		口座記号		口座番号		金額		千:百:十:万:千:百:十:円		001304		707395		金額		千:百:十:万:千:百:十:円	
		001304		707395		¥4000						707395		金額		千:百:十:万:千:百:十:円	
加入者名		東京都高等学校体育連盟弓道専門部								料		金		備		考	
加盟登録費										料		金		備		考	
学校名 (学校番号)		都立高等学校 (00)								料		金		備		考	
東京都高体連		男子		有		無		0円		料		金		備		考	
加盟登録費		女子		有		無		0円		料		金		備		考	
全国高体連		男子		有		無		2,000円		料		金		備		考	
加盟登録費		女子		有		無		2,000円		料		金		備		考	
振		込		日		計		4,000円		料		金		備		考	
おとこ		おなまえ		日		附		印		料		金		備		考	
(ご連絡先電話番号)				日		附		印		料		金		備		考	
ご依頼人欄に、おとこ・おなまえをご記入ください。				日		附		印		料		金		備		考	
これより下部には何も記入しないでください。				日		附		印		料		金		備		考	

大会参加申込手順

1. 申込期限前に申込期限通知を一斉送信します。
顧問は参加費を振り込んで申込票を郵送してください（振込手数料は各校で負担してください）。
払込取扱票の通信欄には以下の情報を必ずご記入ください。

大会名・学校番号・学校名・

申込の男女別のチーム数または個人数・合計金額

（表を作成する必要はありませんが、以下の情報を漏れなくご記入ください。）

大会名			
学校名 (学校番号)	()		
団体	男子	チーム	円
	女子	チーム	円
個人	男子	人	円
	女子	人	円
振込合計			円

不参加の場合は、不参加と記入した申込票（以下、不参加通知）を郵送、またはメールを送付してください。

※メールの場合は件名に、大会名・不参加・学校番号・学校名を記入してください。

例：秋季大会・不参加・66・大成

2. 申込期限直後に、申込票または不参加通知が未着の学校を列举したメールを一斉送信します。
該当する出場校の顧問は、大至急参加費を振り込んで申込票を郵送してください。不参加の場合は、不参加通知を郵送、またはメールを送付してください。
3. 『2.』のメールの後、対応がない学校（未入金かつ連絡なし）は、その大会の出場を認めません。

※1・2の郵送先は、申込票に記載されている、以下の宛先です。

〒132-0031 東京都江戸川区松島2丁目38-1

東京都立江戸川高等学校 内 青山海人宛

Eメールアドレス：Kaito_Aoyama@education.metro.tokyo.jp

東京都高等学校体育連盟弓道専門部 大会運営申し合せ事項

競技については、(公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則に則って運営するが、全国大会等では近年、競技規則にないからと独自の解釈をして、マナーを疑うような行為が多々見られるようになった。

都大会でも、安全・円滑かつ公正に運営され、選手が気持ち良く競技に臨める様、後述する大会実施要項に加え、以下のことについても協力をお願いしたい。

1. 顧問の役割

顧問は所属生徒について、弓道専門部必携を熟知の上、十分に指導・監督して一切の責任を負うものとする。また、以下の項目を厳守すること。

- (1)選手登録及び大会参加申し込みを行う。
- (2)大会開会式の前に本部席の出席簿に氏名の記入をすること。
- (3)打ち合わせに出席し、競技役員として割り当てられた業務に従事すること。

2. 引率・監督について

- (1)引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。
- (2)監督は校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に加入していることを条件とする。

3. 注意事項

- (1)学校単位で出場ができなくなる事項
 - ①顧問の出席が確認されない場合(確認された時点で出場可)。
 - ②指定場所以外で飲食した場合。
 - ③大会運営上支障のある行為、あるいは高校生として良識に欠ける行為があった場合(控室、中央ホールでのゲーム・トランプ・漫画等)。
- (2)選手が守るべき事項(守らない場合は失権とする場合がある)
 - ①第一控入場時まで、第二控に着席すること。
 - ②行射中に選手同士は声を掛け合わないこと。
 - ③替矢を用意しておくこと。
 - ④試合で着装する弓道衣・袴・足袋は単色無地とする。ただし、各学校で統一する事。
 - ⑤弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の単色無地とし、それ以外の色を使用する場合は各学校で統一すること。襟付き・ハイネックは、不可とする。
 - ⑥選手は縦15cm×横20cm(A5サイズ可)の白布に学校名・選手姓名を記入したゼッケンを右腰につけること。その際、ゼッケンの左端が体の中央になるようにする。
 - ⑦選手は、立順票を第3控で招集係に渡すこと(立順票を忘れた場合は試合には出られない)。
 - ⑧足袋に水分その他を含ませるはならない。

- ⑨各自で盗難防止に努めること。(自己管理・自己責任)
- ⑩特別な事情で規定とは異なる服装や行射をする場合は、書面により顧問打ち合わせで本部に届け出ること。
- ⑪会場入場者は下足用ビニール袋を持参し使用すること。
- ⑫飲食は所定の場所でとり、ゴミは必ず持ち帰ること。
 明治神宮：屋外・中央道場2階控室
 東京武道館：中央ホール（遠的場は不可）
- ⑬リボン・ピアス・ネックレス等の装飾品の装着及び化粧品類の使用をしないこと。
- ⑭頭髪は高校生らしい頭髪とし、地毛の脱色・染色等の行為は慎むこと。ただし、特別な事由（疾病等）がある場合は、本部に申し出ること。危険防止のため長い髪は弦に巻き込まれない様に束ね、耳の前に垂らさないこと。
- ⑮男子の胸あての使用は認めないが、道着の下に装着することまでは咎めない。
- ⑯生徒は選手以外、第三控より先に入らないこと。
- ⑰応援は節度をもって肅然と行い、東京武道館では拍手にとどめること。必要以上の大声を張り上げたり、試合の妨げになるような雑然とした言動をしないこと。また、**観客席での飲食・フラッシュ撮影は厳禁とする（度重なる注意にもかかわらず繰り返される場合、該当者の関係先を確認し、出場停止等の措置を採る場合もある）。**
- ⑱手首にテーピング、サポーターの使用は禁止する。サポーターの使用は、手首以外の使用については認める。色は、白・黒・紺・ベージュの単色無地とする。
- ⑲弓道衣の袖をまくったり、折り曲げたりしないこと。
- ⑳入場口でのチームへのかけ声や退場口付近での対戦チームへの挨拶等で大音量の発声をしないこと。
- ㉑危険防止のため射技未熟の者は大会に参加させないこと（参加の可否は顧問の責任において判断する）。また、**参加した選手の行射が危険であると本部で判断した場合は、進行係等が行射を止め、退場させる場合もある。**
- ㉒ストッキングは素足と考えソックスを履くこと。
- ㉓矢摺籐の長さは6 cm以上で目印などをつけてはならない。また、籐の欠損は危険防止のため、事前に巻きなおしておくこと。一部巻き直しは認められない。籐の一部にテープなどが張ってあるときは目印になるのではがしておくこと。籐に目印があると認められた場合は矢摺籐全面をテープで巻くので注意すること。
- ㉔公共交通機関を利用する際は、弓を横にして持ったり、立てかけたりせずしっかり持つこと。また、大会会場の最寄駅改札付近で待ち合わせをしないこと。
- ㉕選手は自身が引いた次の次の立（2立後）の矢取りを行う。予選後の矢取りなどについては、都度の指示に従うこと（初立と2立目は参加校顧問が担う）。

競技結果（記録）等の取り扱い

- (1)本専門部ホームページを通じて公開されます。
- (2)都高体連会報、理事会配布資料等に掲載されることがあります。
- (3)本専門部必携、次年度以降のプログラム等に掲載されることがあります。
- (4)競技会場内でアナウンスで紹介したり、掲示したりすることがあります。

肖像権に関する取り扱い

- (1)本専門部が認めた機関が撮影した写真や映像が、関連ホームページ、メディア等で公開されることがあります。
- (2)本専門部の許可にもとづき、記念写真等が販売されることがあります。

令和8（2026）年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 大会日程

行事名	参加条件	参加費	日時	申込締切	会場	備考
総 会	顧問・部長		4月4日(土) 15:00～		都立芦花高校	加盟申込書を提出すること
都総体開会式	男子 井 草 女子 桜 修 館		4月11日(土) 16:00～		国立オリンピック記念 青少年総合センター	
関東大会 東京都予選 (兼都総体個人戦予選)	団体 1チーム (5名+補欠1名)	実施要項 参 照	女子 4月12日(日) 男子 4月19日(日)	3月21日(土) 必 着	明治神宮至誠館 第二弓道場	団体：入賞3位まで (上位4校は関東大会出場) (記念大会のため)
	個人 参加人数制限なし		男女決勝 4月26日(日)		東京武道館 弓 道 場	個人：入賞8位まで (上位5名は関東大会出場)
東京都 総合体育大会 (全国総体 東京都予選)	団体 1チーム (5名+補欠1名)	実施要項 参 照	団体予選 6月13日(土)	5月8日(金) 必 着	東京武道館 弓 道 場	団体：入賞3位まで (優勝校は全国総体出場)
	個人：関東大会予選で 個人予選を通過した者		団体準決勝・決勝 個人準決勝・決勝 6月14日(日)			個人：入賞8位まで (上位2名は全国総体出場)
東京都 個人選手権大会	個人 参加人数制限なし	1名 1,000円	女子予選 8月25日(火) 男子予選 8月26日(水) 男女決勝 8月27日(木)	6月26日(金) 必 着	明治神宮至誠館 第二弓道場	入賞20位まで (関東個人選手権大会出場枠は実施要項参照)
東京都 秋季大会	6チーム以内	1チーム 3,000円	女子予選 10月4日(日) 男子予選 10月18日(日) 男女決勝 10月24日(土)	8月28日(金) 必 着	東京武道館 弓 道 場	団体：入賞3位まで (優勝校は全国選抜大会出場) (上位3校は関東選抜大会出場) 個人：入賞10位まで (上位2名は全国選抜大会出場) (上位5名は関東選抜大会出場)
東京都新人大会 (3年生不可)	5チーム以内	1チーム 3,000円	女子 1月7日(木) 男子 1月9日(土)	11月27日(金) 必 着	東京武道館 弓 道 場	団体：入賞3位まで【3位2校】 (上位2校(関東開催は3校)は 東日本大会出場) 個人：入賞5位まで
東京都 遠的大会 (3年生不可)	1チーム (3名+補欠1名)	1チーム 3,000円	男女とも 2月20日(土)	1月15日(金) 必 着	明治神宮至誠館 第二弓道場	団体：入賞3位まで (上位2校を紫灘旗全国遠的大会に推薦) 個人：入賞5位まで

※令和9(2027)年度関東大会東京都予選の申し込みは郵送にて令和9(2027)年3月19日(金)必着で申し込んでください。
※公式戦の運営は原則として出場校顧問によって行う。

令和 8 (2026) 年度 関連大会等

大会名称	日時	会場
第70回関東高等学校弓道大会	5月29日(金) 31日(日)	千葉県千葉市
第64回関東教職員弓道大会	6月28日(日)	茨城県水戸市
第71回全国高等学校総合体育大会	7月30日(木) 8月4日(火)	和歌山県和歌山
第57回全日本教職員弓道選手権大会	8月10日(月) 11日(火)	福井県敦賀市
特別教員中央審査	8月12日(水)	福井県敦賀市
国民スポーツ大会 関東ブロック大会	8月22日(土) 23日(日)	千葉県浦安市
第28回紫灘旗全国高校遠的弓道大会	8月22日(土) 23日(日)	福岡県久留米市
第45回関東高等学校弓道個人選手権大会	9月19日(土) 20日(日)	明治神宮至誠館
第81回国民スポーツ大会	10月10日(土) 13日(火)	青森県青森市
第3回関東高等学校弓道選抜大会	11月21日(土) 22日(日)	埼玉県埼玉市
関東高体連審判講習会	未定	茨城県
第45回全国高等学校弓道選抜大会	12月22日(火) 25日(金)	広島県広島市
関東教職員弓道指導者講習会	令和9年1月16日(土) 17日(日)	東京都世田谷区
都連高校生遠的大会	2月23日(火)	明治神宮至誠館
第26回東日本高等学校弓道大会	3月21日(日) 23日(火)	秋田県秋田市

令和 8 (2026) 年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 予定表

		2026 年												2027 年				
日	4 月	5 月	6 月	7 月	日	8 月	9 月	10 月	11 月	日	12 月	1 月	2 月	3 月	日			
1	水	金	月	水	1 土	インターハイ (和歌山県田辺市)	火	木	都民の日	日	1 火	金	元 日	月	1			
2	木	土	火	木	2 日	インターハイ (和歌山県田辺市)	水	金		月	2 水	土		火	2			
3	金	日	憲法記念日	水	3 月	インターハイ (和歌山県田辺市)	木	土	文化の日	3 木	日		水	水	3			
4	土	弓道専門部総会	月	みどりの日	木	4 火	インターハイ (和歌山県田辺市)	金	日	秋季大会女子予選 (東京武道館)	水	4 金	月	木	4			
5	日		火	こどもの日	金	5 水	青少年弓道 練成大会 (東京武道館)	土		月	5 土	火		金	5			
6	月		水	振替休日	土	6 木	青少年弓道 練成大会 (東京武道館)	日		火	6 日	水		土	6			
7	火		木		日	7 金		月		水	7 月	木		日	7			
8	水		金	都 総 体 申 込 締 切	月	8 土		火		木	8 火	金		月	8			
9	木		土		火	9 日		水		金	9 水	土		火	9			
10	金		日	国スポ選考会② (東京武道館)	水	10 月	全日本教職員大会 (福井県敦賀市)	木	土	国民スポーツ大会 (青森県弘前市)	火	10 木	日	水	10			
11	土		都総体開会式	月	木	11 月	山 の 日 全日本教職員大会 (福井県敦賀市)	金	日	国民スポーツ大会 (青森県弘前市)	水	11 金		月	成人の日	建国記念の日	木	11
12	日		関東大会予選 女子(明治神宮)	火	金	12 水	特別教員中央審査 (福井県敦賀市)	土	月	ス ポー ツ の 日 国民スポーツ大会 (青森県弘前市)	木	12 土		火	金	12		
13	月		水		土	13 木	J r 育 成 ④ (明治神宮)	日	火	国民スポーツ大会 (青森県弘前市)	金	13 日		水	土	優秀校表彰式 東京都高体連研究大会 (オリンピックセンター)	13	
14	火		木		日	14 金		月		水	14 月	木		日	日	東日本大会 強化錬成大会 (東京武道館)	14	
15	水		金		月	15 土	国スポ関東 ブロック大会 リハーサル	火	木		日	15 火		金	都 遠 的 大 会 申 込 締 切	月	15	
16	木		土		火	16 日	国スポ関東 ブロック大会 リハーサル	水	金		月	16 水		土	関東教職員指導者講習会 (世田谷区)	火	16	
17	金		日	国スポ選考会③ (東京武道館)	水	17 月		木	土		火	17 木		日	関東教職員指導者講習会 (世田谷区)	水	17	
18	土		月		木	18 火	J r 育 成 ⑤ (明治神宮)	金	日	秋季大会男子予選 (東京武道館)	水	18 金		月	木	18		
19	日		関東大会予選 男子(明治神宮)	火	金	19 水		土	関東個人選手権 (明治神宮)	月	19 土		火	金	2027年度 関東大会予選 申 込 締 切	19		
20	月		水		土	20 木		日	関東個人選手権 (明治神宮)	火	20 日		70 周年記念 祝 賀 会	水	土	都 遠 的 大 会 (明治神宮)	20	
21	火		木		日	21 金		月	敬老の日	水	21 月		土	関東選抜大会 (埼玉県上尾市)	日	春 分 の 日 東日本大会公式練習 (秋田県秋田市)	21	
22	水		金		月	22 土	国スポ関東ブロック大会 (千葉県千葉市)	火	国民の休日	木	22 火		日	関東選抜大会 (群馬県前橋市)	金	月	振 替 休 日 東日本大会 (秋田県秋田市)	22
23	木		土		火	23 日	国スポ関東ブロック大会 千葉県千葉市 薬種旗選の大会(久留米市)	水	秋分の日	金	23 水		土	全国選抜大会 (広島県広島市)	火	天皇誕生日 都連高校生選の大会 (明治神宮)	東日本大会 (秋田県秋田市)	23
24	金		日	関東大会 強化錬成大会 (東京武道館)	水	24 月		木	土	秋季大会男女決勝 (東京武道館)	火	24 木		日	全国選抜大会 (広島県広島市)	水	24	
25	土		月		木	25 火	都個人予選女子 (明治神宮)	金	日		水	25 金		月	木	25		
26	日		関東大会予選 男女決勝(都武道館)	火	金	26 水	都個人予選男子 (明治神宮)	土	月		木	26 土		火	金	26		
27	月		水		土	27 木	都個人男女決勝 (明治神宮)	日	火	金	新 人 大 会 会 申 込 締 切	27 日		土	部活動合同稽古 (東京武道館)	水	27	
28	火		木		日	28 金	関東教職員大会 (茨城県水戸市)	月	水		土	28 月		木	日	28		
29	水		金		月	29 土		火	木		日	29 火		金		29		
30	木		土		火	30 日	インターハイ 公式練習 (和歌山県田辺市)	水		金		30 水		土		30		
31			日		金	31 月	インターハイ 公式練習 (和歌山県田辺市)			土		31 木		日		31		
																関東高体連 審判講習会		

大会運営業務について

令和元年度以前は常任委員と特定の学校の顧問及び生徒を中心とした大会運営を行なって参りました。令和2年度から新型コロナウイルス感染予防の観点から矢取り及び看的業務（令和3年度は的前審判の補助業務も追加）を各校顧問の先生に担って頂きました。お陰様で大きな問題も起こらず、円滑に大会運営を行うことができただけでなく、令和5年度の全国選抜大会、令和6年度の関東選抜大会の成功に寄与したものと感謝申し上げます。今年度も、出場校の顧問の先生に加え、出場選手にも協力を仰ぎ、持続可能な余裕ある大会運営の在り方を検討して参りたいと考えております。つきましては、運営業務を以下の通り割り振りました。どうぞよろしく願いいたします。

令和8年度 分担案

◎：各部署代表校

係 名	男子校	女子校	係 名	男子校	女子校
競技委員長	桜修館中等教育		運行・進行 2人/5校	◎芦	花
審判長	翔	陽		小	岩
競技副委員長	芦	花		東京成徳大	学
的 前 16人/34校	◎大	成		美	原
	両	国		桜修館中等教育	
	八	潮	◎文化学園大学	並	
	第	業	玉川学	園	
	五		井新	草	
	商		杉	宿	
	業		並	合	
	三		海	城	
	鷹		◎八	王	
	中		昭	子	
	等		学	東	
	教		芸	和	
	育		日	属	
	大		比	谷	
	学		東京都市大学等々	力	
	生		東		
原		立川国際中等教育			
院		東海大学附属高輪台			
院		日本大学鶴ヶ丘			
久		忍			
我		◎東海大学菅生			
山		江	川		
射		戸			
場		早稲田実業学校			
記		多摩大学			
録		美			
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
本部記録					
1					
2					
3					
4					
5					
6					
集計・掲示					
2人/6校					
式典・表彰					
1					
2					
3					
4					
入館管理					
3人/7校					
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
総務					
総務					
1					
2					

※会場の設営は教員全員で行う
 ※大会に欠場する場合は、各部署代表校の顧問に連絡して 部署内で人数調整を図る。

各業務内容

競技開始前の係【8：00入館後、速やかに業務に当たる】

- ◇入管管理（選手受付）：入館終了までは、呼出1名、選手確認1～2名、玄関指導1名を配置。
入館終了後から大会終了までは、入口に2名以上を常駐。
 - 呼び出し
大会プログラムをもとに、入館可能時間になった選手を呼び出す。「〇時〇分になりました。立順番号〇〇番まで、入館可能時刻になりました。」のように、玄関の外でハッキリ聞こえるように発声をし、選手確認へ誘導する。
※呼び出しに応じない選手があった場合は、15分程度した後に、再度呼び出す。
 - 選手確認
ゼッケンと立順票を照合し選手確認をする。この時、一緒に立順票の不備や化粧等の違反も確認する。違反を見つけた場合は、近くの常任委員に知らせ、注意をするとともに、本部に処遇を仰ぐ。
 - 玄関指導
靴を靴袋にしまわせる。また、他団体と入退館時間が重なった場合、玄関の交通整理を行う。
 - 保護者／不審者対応
会場が明治神宮至誠館第二弓道場（全日本弓道連盟中央道場）で、平日（月から金曜）開催の時のみ、観覧席が開放されていることを伝える。これ以外は観覧できない旨を伝え、引き返していただく。不審者に対しては、本部・会場と連携して対応する。
- ◇警備：業務にあたっていない時間帯の各校顧問が担う。
 - 不審者がいた場合は、IDの提示を求めるなどし、関係者でない場合は速やかに退館させる。
 - 観覧席で円滑な観覧ができるよう誘導し、フラッシュ撮影などには注意を与える。また、荷物による席取りには注意を与える。
 - 選手控室での過剰なスペース確保などに注意を与える。
 - 控室に異性が入室しないよう警備にあたる。
- ◇設営（安土）
 - 的を15個つけ、射場ごとに仕切り棒を立てる。
 - 的前審判席（射場あたり2脚）と第三射場用に仮設看的表示板を設置する。
 - 的前審判席には、○・×札（射場あたり1セット）を置く。
- ◇設営（射場）
 - 机6台（記録5・放送計時1）、椅子49脚（係24・選手15・介添10）、ベル、ストップウォッチ、白旗を用意する。
 - 東京武道館では設営（控）と共に放送機器3セット（集合場所・遠的場はマイク同調）に電源を入れ音声が出ることを確認する。
 - 立駒を置く。
- ◇設営（控）
 - 集合場所に机1台・椅子3脚・ホワイトボード1台を用意する。また、東京武道館では設営（射場）と共に放送機器を準備する。
 - 第二控に椅子15脚・弓立1台・ホワイトボード1台を用意する。
 - 第三控に椅子15脚・弓立1台・ホワイトボード1台を用意する。
 - 東京武道館では、パーテーションや弓立を用いて中央ホールを仕切る。
 - 必要箇所に張り紙をする。
 - 東京武道館では、遠的場にブルーシートを設置する。
- ◇受付
 - 領収書の配付を行う（必要書類等があるときは、その配付および回収を行う）。
- ◇式典司会
 - 開会式の呼びかけ放送と司会を行う。

競技中の係【開会式終了後、速やかに競技が開始できるよう業務に当たる】

◇招集

- 第三控（集合場所）
 - ア) 欠場チームを申告された場合にホワイトボードにその旨を記載する。
 - イ) 招集している立ち順番号をホワイトボードに記入し、アナウンスをする。
 - ウ) 立順票をもとに学校名・氏名を確認し所定の席に座らせる（弓具点検に備えて素早く行う）。
 - エ) ゼッケン及び着装の確認を行う。
 - オ) 第二控の選手が入場を始めたら、第一射場の選手から第二控へ移動の指示をする。
- 第二控
 - ア) 立順票を回収し、射場記録に配布する。
 - イ) 必要に応じて選手への注意事項を伝える。
 - ウ) 選手に入場を指示する。

◇X（旧 Twitter）

- 注意事項や連絡などをポストする。

◇的前審判・的前管理

- 構成・配置
 - ア) 的前審判：各射場に的前審判と的前審補助を配置する。
 - ・ 的前審判は的中判定及び全的確認、並びに予選2立の矢取りを担い、的前審補助は的前審判の補助を担う。
 - イ) 的前管理：第三射場を除く各射場に看的表示、前・後射場に矢取指示を配置する。
 - ・ 看的表示は看的表示板の操作を担い、矢取指示は矢取り（後述）の指示管理及び、赤旗・ブザーのコントロール、並びに、予選2立の矢拭き・矢返し及び必要に応じて的替え業務を担う。

1. 業務内容

ア) 開会式後

- ・ 射場にてミーティングを行い、トランシーバーなどを受け取る。
- ・ 持ち場の集合時間やローテーションなどを確認する。

イ) 大会直前（前射場・後射場それぞれで行う）

❖ 的前審判

- ・ 的中表示具が看的の見やすい位置に出せるよう調整する。

❖ 的前審補助

- ・ 射場の選手の動きを把握し、看的の視界を妨げずに的前審判に的確に伝達できる位置を確認し、調整する。

❖ 看的表示

- ・ 看的表示板の確認を『○』『×』を表示する順番を含めて行う（東京武道館は上から・明治神宮は下から表示する）
- ・ 確認・矢取りの際のブザー及びランプの作動確認を行う。
- ・ 看的表示に東京武道館では、赤色灯を着ける・消す担当を、明治神宮では赤旗を出す・しまう担当を割り振る。

❖ 矢取指示

- ・ 矢拭き用の雑巾を一ヶ所（東京武道館は巻藁場に抜ける近辺、明治神宮は塚裏の通路）にまとめる（ただし、予選2立は後看的でも矢拭きを行うため1枚は残しておく）。

❖ 的前審判（的中判定）

- ・ 的から目を離さず「あたり」「はずれ」を判定し、看的表示に的中表示具で『○』または『×』を示す（『失』及び『掃きあたり』の場合も『×』を出す）。○×の判定を下せない場合は、『?』を示す（表示具は看的表示板に○または×が表示されるまで表示し続ける）。

- ・『掃き中り』及び『?』を示した場合は、トランシーバーで連絡をする。
- ・追い越し発射などの失権行為があった場合でも、的中であれば『○』を表示する（追い越し発射の場合、追い越した選手の的中は認められないが、追い越された選手の的中は認められる）。

❖的審補助（判定補助）

- ・射手の動きを見て、「1番、大三、引き分け、会、離れ」のように簡潔に発声し、的前審判に射手の状況を伝え、的中判定をサポートする（伝え方は的前審判と打ち合わせる）。
- ・弦音の後、次の射手の動きを伝える（次の射手が打ち起こせば発声）。
- ・『失』の場合は、「1番、矢を落としました」と伝えるなど、射手の様子を伝える。
- ・場合によって裏審（反対射場からの的中判定）を置く場合もある。

❖看的表示（的前管理）

- ・（自身の判断は持ち込まず）的前審判が示した的中表示具の通りに、東京武道館は上から、明治神宮は下から『○』『×』を表示する。『?』の場合は空白のままにする。
- ・射場に射手が揃っていない場合があるので注意する。

❖矢取指示

- ・矢取生徒に以下を指示する。
 - ❖矢取りを行う的（1人一的が原則。状況に応じて複数の的や射場）を割り振る＜各人にそれぞれ「第2射場の前」など具体的な担当を指示＞。
 - ❖的前審判が全的確認に向かうタイミングで速やかに入場、全的確認が始まる前に担当の的後方に屈んで待機することを目標にする（入場の際は、矢を踏まないように細心の注意を払う）。
 - ❖的前審判の「（矢取り）お願いします」の合図で矢取り（右手で抜いて左手に持ち替える）を開始する（矢を曲げないように注意する）。
 - ❖担当の的の矢を抜き終わったら速やかに前看的に向かって退場する。前方に矢取り中の者がいた場合は追い抜く。
 - ❖看的小屋に入ったからといって歩みを止めることなく矢拭き用の雑巾がある場所まで進む。
 - ❖矢拭き後、射場毎にまとめて、指定された矢箱に矢返しを行う。
 - ❖矢返し後、自分の矢を回収する。
 - ❖行射が終わりそうな頃合いで後射場の看的小屋の中に誘導し、入場のタイミングを伺う。

ウ) 的中確認（全的確認）

❖看的表示

- ・看的は、的前審判が全的確認に向かうタイミング（『確認お願いします』のアナウンス）で赤旗や赤色灯にて周囲に注意を促す。
- ・矢取りは、看的小屋から整然と入場し落的手前に蹲踞で待機する（欠場の射場は矢取りが必要ないため入場しない）。

❖的前審判

- ・CRの指示で的前の確認に入り、的審補助を介して的中数と看的表示板を確認する。
- ・終始、射場や観覧席からの的を遮ることのないよう配慮する。
- ・判定補助に向けて、1番的から順に的中数を「第○射場2、0、4」のように、簡潔に発声するとともに右手の指を立て、的審補助に示す。この際、掃き中りの矢を数えないよう注意する。
- ・射手がいない的に関しては「0（ゼロ）」と発声する。
- ・失権になった矢が的中している場合は、全的確認後にアナウンスで失権となり、看的表示板が訂正されるので、全的確認の段階ではありのままの的中数を発声する。
- ・射詰競射の際の全的確認は、的中のときは「1」残念のときは「0（ゼロ）」と発声する。

❖的審補助

- ・予め看的表示板を確認し、表示されている的中数を把握する。
- ・的前から発せられる的中確認の発声と看的表示板が一致する場合は手を挙げ「はい」と発声し確認したことを周囲に示す。
- ・一致しない場合は、挙手せずに「○番、もう一度確認して下さい」と伝える。
- ・それでも一致しない場合は次項『(カ) 判定に確認の必要がある場合』の『✓確認と看的表示板が一致しない場合』に遵う。

❖矢取指示

- ・的前審判が全的確認に向かうタイミング（『確認お願いします』のアナウンス）で矢取生徒を速やかに担当する的に送り出す。

エ) 的中判定

❖的前審判

- ・確認に問題がなければ、その場（落的に向かって左側あたり）で右手を挙げて射場に示し、射場記録が手（白旗）を挙げたら手を下げ速やかに引き上げる。

❖看的表示

- ・的中確認を終えた的前審判が審判席に戻り始めると同時にブザーを鳴らし、看的表示板を元に戻す（ただし、トーナメントや競射の場合は射場の選手が退場し始めてから看的表示板を元に戻す）。

オ) 判定に確認の必要がある場合

以下の事象が同時に起こった場合は確認作業を行う。優先順位は記載順とする（射場から確認要請があった場合は、何本目かを予め確認する）。

✓射場からの的中の確認要請がある場合

- ❖次項【行射中、『?』を表示させた場合】に準じる。

✓行射中、『?』を表示させた場合

❖的前審判

- ・全的確認を行う前に、当該の的中を確認し、体で的中を隠さないように配慮しながら、射場に向かって○×札を掲げ「確認します。第一射場2番、3本目。あたりです」のように発声する（「合計○中です」とは発声しない）。

❖看的表示

- ・的中判定の発声に耳を澄ませ、看的表示板の空白『?』の部分を表示する。

❖的審補助

- ・看的が表示板の表示を的中に行なったことを確認し、的前審判に「なおりました」と伝える。

❖的前審判

- ・的審補助の『なおりました』の合図で（隣射場の教員が担った場合は、生徒にバトンタッチして自分が担当する射場の業務を行う）1番的から全的確認を始める（『?』を出した的も再度確認する）。

✓確認と看的表示板が一致しない場合

❖的前審判

- ・○×を判定し、射場に向かって○×札を掲げ「訂正します。第一射場2番、3本目。あたりです」のように発声する（「合計○中です」とは発声しない）。判定が下せない場合は、他射場の的前審判に応援を乞う。
- ・看的通りだった場合は「確認します。看的表示板の通りです」のように発声する）。

❖看的表示

- ・的中判定の発声に耳を澄ませ、看的表示板の該当箇所を訂正する。

❖的審補助

- ・看的が表示板の表示を的中に行なったことを確認し、的前審判に「なおりました」と伝える。

❖的の前審判

- ・的審補助の『なおりました』の合図で（隣射場の教員が担った場合は、生徒にバトンタッチして自分が担当する射場の業務を行う）1番的から全的確認を始める（『?』を出した的も再度確認する）。

✓確認と看的表示板が一致しない場合

❖的の前審判

- ・○×を判定し、射場に向かって○×札を掲げ「訂正します。第一射場2番、3本目。あたりです」のように発声する（「合計○中です」とは発声しない）。判定が下せない場合は、他射場の的の前審判に応援を乞う。
- ・看的通りだった場合は「確認します。看的表示板の通りです」のように発声する）。

❖看的表示

- ・的中判定の発声に耳を澄ませ、看的表示板の該当箇所を訂正する。

❖的審補助

- ・看的が表示板の表示を的確に行なったことを確認し、的の前審判に「なおりました」と伝える。

❖的の前審判

- ・判定補助の「なおりました」の合図で、（隣射場の教員が担った場合は、生徒にバトンタッチして自分が担当する射場の業務を行う）「○番から再開します」と的審補助に伝え、訂正した的の次の的から確認を再開する。

2. 遠近競射（順位決定）

的の面及びその延長面で、的の中心から距離が近い矢を上位とするが、同位としか判断できない場合、CR（または本部）に引き直しを要請する。

✓教員が3名1組で順位決定を行う。

✓配置は次項の通り（ α ・ β は蹲踞）。【 α ・ β ・ γ は適宜割り振る】

✓体で的を隠さないように配慮して配置につく。

✓公正・迅速を心掛ける。

α ：上位の（中心に近い）矢を右手人差し指で指す（必要に応じて定規などを用いる）。

β ： α が指した矢を確認し左手で的を押さえ右手で矢を抜き、矢羽根を上にして順位札を本矧の2cm下部付近に、剥がれ難くかつ剥がし易いように貼付して審判員 γ に手渡す。

γ ： β の抜いた矢を左手で受け取り、矢羽根を上にして矢の中ごろを持つように、右手に持ち替え正面に出す。次の矢は、上位の矢から順次10cm程度ずらして持つ。

β ： γ が射場に向かったことを確認して、審判員 α と『順位に関係のない矢』を抜き自射場側へ退場する。『順位に関係のない矢』は退場したあとに、的の前管理（矢返し）に渡す。

☆進行係への矢の受け渡し方法

① γ は必要本数を受け取ったのち、身体を正面に捧げ、右手で矢をかざし左手を腰前に置き、矢道の最短距離を通り射場に運び射場進行と向き合う。

②射場進行は γ に揖をする（審判員 γ はしない）。

③ γ は最上位にある矢から順に左手人差し指で指し「**2位・3位の矢です**」などと、伝えた後、進行係に手渡す（進行係は左手で矢を受け取る）。

④ γ は手渡した後、進行係に揖をする（進行係はしない）。

⑤自射場側へ退場する（第一射場であれば左、第二射場であれば右に退場）。

☆（2・3位決定と4・5位決定などで）2つの的を利用する場合は、係生徒に β の役割を担わせるなどして、同時に判定するが上位の矢の受け渡しを優先するため、射場に運ぶ際は時間差をつける。

配置図



3. その他

- ✓ 3人立五射場展開による大会運営の場合は、仮設看的表示板を第三射場として運営する。
- ✓ 5人立三射場展開による大会運営の場合は、仮設看的表示版を第二射場として運用する。

参考：公益財団法人 全国高等学校体育連盟 弓道競技規則

第11条【的中の判断】

「あたり」「はずれ」の判定は、矢の根が的面を射ぬき、的枠内にとどまっているか否かによる。矢が折れた場合は、矢の根側の状態で判定する。

- (1) 「あたり」は、矢が的枠内にとどまった場合とする。ただし次の場合も的枠内にとどまったものとし「あたり」とする。
 - (ア) 矢が、的枠の内側からの的枠の外側に射ぬいた場合。
 - (イ) 矢が、的枠の合せ目または的枠内にとどまった場合。
 - (ウ) 矢が、あたり矢に継矢となった場合。
 - (エ) はずれ矢に接触して、的枠内にとどまった場合。
 - (オ) 的が転び、矢が的枠内にとどまっている場合。
 - (カ) 的枠内にとどまっている矢の一部が、敷に接触している場合。
- (2) 「はずれ」は矢が的枠内にとどまらなかった場合とする。ただし、次の場合も的枠内にとどまらなかったとし「はずれ」とする。
 - (ア) 矢が、的枠の外側からの的枠の内側に射ぬいた場合。
 - (イ) 矢が、候串との的枠の間にとどまった場合。
 - (ウ) あたり矢に接触して、的枠外に出た場合。
 - (エ) 矢が跳ね返り、的枠外に出た場合。
 - (オ) 掃きあたりの場合。
 - (カ) 幕・防矢ネットなど障害物に接触した場合。

【的枠内の判定基準】

的枠内とは、的枠の外側の円内に矢が存在する事をいい、矢の外側の的枠が破断している場合は、的枠内とは考えない。そのためビニールの紙など、強度がある的紙のために、的枠が確認できない場合は、的紙を切り開き矢との的枠の状態を確認する必要がある。矢が的枠正面からあたり、鏃の先端が的枠内に残っている場合は、矢の外側の的枠が破断している場合でも「あたり」と判断する。

第12条【的中制の順位】

- (1) 的中制は、的中数の多い方を上位とする。個人競技で同中の場合は、射詰競射による方法と遠近競射による方法がある。
- (2) 同中の場合は、次の方法により順位を決定する。
 - ア) 個人競技
 - ①射詰競射の場合
 - (ア) 継続的中数の多い方を上位とする。必要により直径24cmの星的を使用することができる。

(イ) 的中を逸した同位者は、遠近競射を行う。ただし、最上位者を決定する場合は、射詰競射を継続してもよい。

②遠近競射の場合

(ア) 順位は、矢所により判定し、的中中心に近い矢を上位とする。

* 矢所とは矢の最初の着点をいう。

* はずれた矢は的中の中心から矢所までの距離を測る。

* 的枠に矢が触れて的中が動いた場合は、的中を元の位置に戻して距離を測る。

* 矢が的中のすれすれでははずれた場合は、矢が的中にあたって外れた場合よりも距離が近い場合があるが、たたき矢は標的に密着していると見てたたき矢の方を上位とする。

(イ) 同じ距離にある矢は、再度競射を行う。

(ウ) 塚に届いた掃き矢は、全体での下位とし、複数の場合は的中中心からの距離が近い矢を上位とする。

(エ) 塚に届かなかった掃き矢は、全体での最下位とし、複数の場合は的中中心からの距離が近い矢を上位とする。

(オ) 筈こぼれなどで射離されなかった矢は、塚に届かなかった矢より下位とする。

(複数の場合は同位)

(カ) 順位は、複数の的中前審判委員で判定する。

(キ) 直径36cmの霞的を使用し、1つの的中に対して同じ立位置から1射行射する。

◇矢取生徒

◦ 業務内容（矢取りを行う順番が前後することがある）

ア) 自身の引いた次の次の立の矢取りを行う。

❖準備

- ・自身の行射を終えたら速やかに矢取生徒の待機場所（後看的付近）に集合する。
- ・事前に、業務を見て業務内容の把握に努める。
- ・矢取指示の説明をよく聞き、割り当てられた的中と業務内容を把握する。

❖矢取り

- ・的中前審判が全的確認に向かうタイミングで速やかに入場、全的確認が始まる前に、矢取指示に割り当てられた担当の的中後方に屈んで待機する。
- ・的中前審判の「（矢取り）お願いします」の合図で矢取りを開始する。
- ・担当の的中の矢を抜き終わったら、矢は右手で持ち、左手で矢尻を支え、速やかに前看的に向かって退場する。前方に矢取り中の者がいた場合は追い抜く。
- ・看的小屋に入ったからといって歩みを止めることなく矢拭き用の雑巾がある場所まで速やかに進む。
- ・矢拭き後、射場毎にまとめて、指定された矢箱に矢返しを行う。
- ・矢返し後、自分の矢を回収する。

◇射場記録

- 初めに記録用紙が配布されるので、学校名があっているか確認する。
- 看的が表示されたらそれを記録用紙とPCに入力する（紙が正式記録）。最後に的中の合計を記入する（看的表示板が白のまま又は？の場合は未記入で、的中前審判が確認して表示が出たらそれを書き写す）。
- 担当する射場の矢どころをよく見ていること。
- 訂正がある場合は、赤ペンで上書きする。
- 掃中り等で誤審があった場合は、矢取りをする前までに手を挙げて進行に伝える。
- 的中前審判が的中を確認するときに、PC担当の生徒に聞こえるように的中数を発声して記録と照らし合わせる。間違いがなければ挙手をする。
- 的中が合っていればPCの確定ボタンを押す。
- 記録用紙を回収に来るので渡す。
- 欠場の際はPCの確定ボタンを押し、次の立に変える。

◇記録集計

- 立順票に記入されている選手名をPCに入力し、射場記録が入力した的中記録をPCに取込み、立順票の内容が合っているかを確認する。
- 予選及び準決勝など、必要に応じて記録をプリントし、本部・招集・進行・的前・射場記録・放送などに配布する。
- 速報HPに記録した結果をアップする。ただし、個人情報の取扱いには十分に注意する。

◇放送・計時

- 放送
 - ア) 進行の指示に基づいて放送する。
- 計時
 - ア) 「はじめ」の発声で計時を開始する。
 - イ) 制限時間（3人立6分・5人立7分）に達する30秒前に鈴を1回鳴らす【予鈴】
 - ウ) 制限時間（3人立6分・5人立7分）に達すると同時に鈴を2回鳴らす【本鈴】
 - エ) 競技中に何らかの事情で競技が中断された時は、進行の指示に従い、「やめ」の発声で計時を停止し、「はじめ」の発声で再開する（原則として、弦切れや失などで時間を延長することはない）。

競技終了後の係

◇式典司会

- 閉会式の呼びかけ放送と司会を行う。

閉会式終了後の係

◇清掃

- 清掃は入賞校が閉会式（表彰）後に行うが、速やかに退館できるよう、各部署が協力して原状回復する。
- 清掃区分
 - * 選手控室・中央ホール・巻藁練習場・近的場・トイレ（スリッパの整理整頓）

大会実施要項（令和8年度）

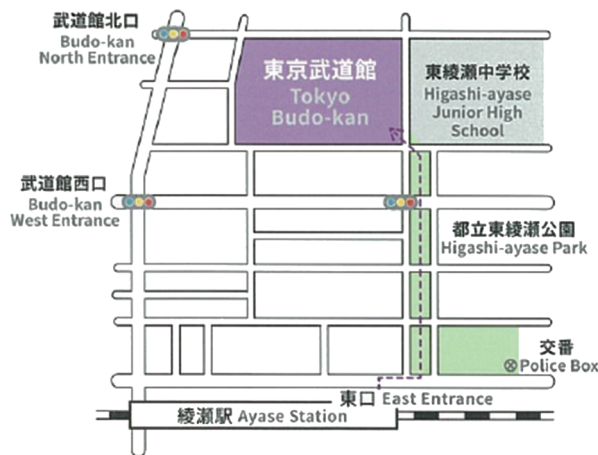
会場

明治神宮 至誠館第二弓道場
〒151-8557
東京都渋谷区代々木神園町1-1
03-5302-5865（第二弓道場直通）



* 明治神宮の弓道場は、数ある弓道場の中でもひととき特別であることを認識し、立入禁止区域には絶対に入らないこと。

東京武道館 弓道場
〒120-0005
東京都足立区綾瀬3-20-1
03-5697-2111



* 綾瀬駅改札口付近は狭く大変混雑するため駅での待ち合わせなどはしないこと。
* 東京武道館へは車道を通らずに東綾瀬公園内を通ること。

入館時間

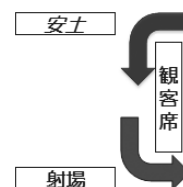
大会運営役員 8:00（変更の場合は大会プログラムにて案内）
出場選手 チームごとに入館（大会プログラムにて案内）

共通項目

1. 主催 東京都高等学校体育連盟
2. 主管 東京都高等学校体育連盟弓道専門部
3. 競技種別 男子の部・女子の部
4. 競技規定 公益財団法人全国高等学校体育連盟「弓道競技規則」
東京都高等学校体育連盟弓道専門部必携「大会運営申し合せ事項」
大会実施要項

5. 注意事項

- ①各校顧問（コーチを含む）と選手、運営を担う業務分担校の係生徒以外の施設入館は原則認めない。顧問及びコーチは「ID」を、選手は「ゼッケン」を必ず着用すること。
- ②靴袋を持参すること。入館の際に、外履きだけを持ち歩いたり下足箱を使用したりせず、靴袋に外履きを入れて保管すること。また、靴袋の取り違いに注意すること。
- ③大会前の打ち合わせには引率者と（必要に応じて）係生徒が**必携と大会プログラム**を持って出席すること。プログラムは各校で必要部数を予め用意すること。
- ④突然の欠席等やむを得ない事由により、構成人数が3人（関東予選・都総体は5人）に満たない団体での出場が余儀なくされた場合は、大会への参加を認める。ただし、団体構成人数の過半数を割る（3人立に1人で出場・5人立に2人以下で出場）と団体入賞資格はなくなる。
- ⑤個人競技の射詰競射の5本目からは、24cmの星的を使用する場合がある。
- ⑥射詰競射・決勝トーナメントには、必ず替矢を用意すること（矢返しは5本目まで行わない）。
- ⑦平日に明治神宮で開催する場合は保護者の観覧を認める。
- ⑧応援観覧は原則として自校のものに留める。観覧席入口は安土側、出口は射場側とする。



関東大会東京都予選 (兼都総体個人戦予選)

1. 期 日 令和8年4月12日(日) 女子 (団体1次予選・個人予選)
(明治神宮 至誠館第二弓道場)
令和8年4月19日(日) 男子 (団体1次予選・個人予選)
(明治神宮 至誠館第二弓道場)
令和8年4月26日(日) 午前 女子 (団体2次予選以降・個人決勝)
(東京武道館 弓道場)
午後 男子 (団体2次予選以降・個人決勝)
(東京武道館 弓道場)
2. 競技種目 近的競技
3. 競技種類 団体競技・個人競技
4. 進 行 団体1次予選 (個人予選を兼ねる) ・個人予選 (個人戦のみの出場者)
団体2次予選 (個人決勝を兼ねる) ・個人決勝・団体決勝トーナメント
個人順位決定戦
5. 競技方法 的中制 (立射・直径36cm霞的)
 - (ア) 団体競技
 - ① 1次予選 各自4射1回 (合計20射)
 - 的中数の上位から15チームを2次予選進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は15チームを超えることがある。
 - ② 2次予選 各自4射1回 (合計20射)
 - 1次予選・2次予選の通算的中数上位9チームを決勝トーナメント進出チームとする。
 - 同中により9チームを超える場合は一本競射を行う。
 - トーナメント表作成のための通過順位は的中数の多い順とする (同中の場合は立順番号の早いチームを上位とする)。競射による決勝進出チームが複数ある場合も、立順番号の早いチームを上位とする。
 - ③ 決勝トーナメント 各自4射1回 (合計20射)
 - 各自4射 (合計20射) の的中数で勝敗を決する。同中の場合は一本競射を行う。
 - 1回戦 (各3チームから1チームが決勝に進出する)
 - 第1試合: 通過順位『1位対6位対8位』
 - 第2試合: 通過順位『2位対4位対9位』
 - 第3試合: 通過順位『3位対5位対7位』
 - 決勝 (的中数が多い方から上位とし、同中の場合は一本競射を行う。)
 - 1回戦『第1試合の勝利チーム対第2試合の勝利チーム対第3試合の勝利チーム』
 - (イ) 個人競技
 - ① 個人予選 (団体競技出場者は団体1次予選と兼ねる)
2中以上の的中者を決勝進出とする。
 - ② 個人決勝 (団体1次予選通過チームで個人2中以上した選手は団体2次予選と兼ねる)
個人予選・個人決勝の通算的中数で8位までの順位を決定する。同中の場合は次項③の順位決定を行う。
 - ③ 順位決定
決勝において、同中の場合は競射を行う。ただし、優勝決定は射詰競射を行い、2～8位決定は遠近競射を行う。
6. 注意事項
 - (ア) 射場区分 団体競技: 5人立3射場
個人競技: 3人立5射場
 - (イ) 制限時間 団体競技: 7分以内とする
個人競技: なし (弦音打起しを心掛けること)

- ①行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。
- ②30秒前に予鈴（1音）を、制限時間超過を確認して本鈴（2音）を鳴らす。
- ③弦切れ、その他の失が生じても時間の延長はしない。
- ④競射については、制限時間を設けない。

(ウ) 選手交代

- ①団体選手の交代は予選時に登録した選手に限り2回まで認める。
- ②選手交代は、招集までに監督（顧問）が本部に交代届を提出する。

(エ) 予選通過の確認

- ①団体1次予選通過的中数と4月26日の集合時間はHP及びX（旧Twitter）などで周知する。

(オ) 個人競技の個人予選を通過（2中以上）した選手が都総体個人競技の参加資格を得る。

7. 表彰

(ア) 団体競技は上位3チームを表彰し、個人競技は上位8名を表彰する。

(イ) 団体競技上位4校と個人競技上位5名は関東高等学校弓道大会の出場権を得る。

（第70回関東大会が記念大会であり、各都県1校追加のため）

- ①決勝トーナメントの決勝進出チームで関東大会推薦校数を満たせない場合（関東大会の出場枠の変更・出場辞退が生じた場合など）は、決勝トーナメント進出チームの中から、予選から決勝トーナメント1回戦まで（60射）の通算的中数が多い順に出場校を選出する。同中の場合は一本競射を行う。

8. 大会参加費

(ア) 団体競技参加費：5,000円／チーム

(イ) 個人競技参加費：1,000円／人

東京都総合体育大会弓道競技（全国総合体育大会東京都予選）

1. 参加資格 団体：全加盟校
個人：関東大会東京都予選の個人予選で2中以上した選手
2. 期 日 令和8年6月13日(土) 団体予選
令和8年6月14日(日) 団体準決勝・団体決勝・個人競技
3. 会 場 東京武道館 弓道場
4. 競技種目 近的競技
5. 競技種類 団体競技・個人競技
6. 進 行 団体予選・団体準決勝・団体決勝・個人準決勝・個人決勝・個人順位決定戦
7. 競技方法 的中制（立射・直径36cm霞的）
 - (ア) 団体競技（個人競技を兼ねない）
 - ① 団体予選 各自4射1回（合計20射）
的中数の上位8チームを準決勝進出チームとする。
ただし、同中チームがある場合は8チームを超えることもある。
 - ② 団体準決勝 各自4射1回（合計20射）
予選・準決勝の通算的中数上位4チームを決勝進出チームとする。
ただし、同中チームがある場合は4チームを超えることもある。
 - ③ 団体決勝 各自4射1回（合計20射）
予選・準決勝・決勝の通算的中数で順位を決定する。同中の場合は一本競射を行う。
 - (イ) 個人競技 ※関東予選で2中以上を予選通過とする。
 - ① 個人準決勝 各自4射1回
3中以上の的中者を決勝進出とする。
 - ② 個人決勝 各自4射1回
準決勝・決勝の通算8射の的中数で順位を決定する。
 - ③ 順位決定
決勝において、同中の場合は競射を行う。ただし、全国総体出場権が得られる1・2位決定は射詰競射を行い、3～8位決定は遠近競射を行う。
8. 注意事項
 - (ア) 射場区分 団体競技：5人立3射場
個人競技：3人立5射場
 - (イ) 制限時間 団体競技：7分以内とする
個人競技：なし（弦音打起しを心掛けること）
 - ① 行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。
 - ② 30秒前に予鈴（1音）を、制限時間超過を確認して本鈴（2音）を鳴らす。
 - ③ 弦切れ、その他の失が生じてても時間の延長はしない。
 - ④ 競射については、制限時間を設けない。
 - (ウ) 選手交代
 - ① 団体選手の交代は予選時に登録した選手に限り2回まで認める。
 - ② 選手交代は、招集までに監督（顧問）が本部に交代届を提出する。
9. 表 彰
 - (ア) 団体競技は上位3校を表彰し、個人競技は上位8名を表彰する。
 - (イ) 団体競技優勝校と個人競技上位2名は全国高等学校総合体育大会の出場権を得る。
10. 大会参加費
 - (ア) 団体競技参加費：5,000円／チーム
 - (イ) 個人競技参加費：1,000円／人
個人競技の参加資格を有する者が団体競技に出場する場合も、団体競技参加費5,000円とは別に個人競技参加費を納める。

東京都個人選手権大会（関東高等学校弓道個人選手権大会東京都予選）

1. 期 日 令和8年8月25日(火) 女子予選
令和8年8月26日(水) 男子予選
令和8年8月27日(木) 男女決勝
2. 会 場 明治神宮 至誠館第二弓道場
3. 競技種目 近的競技
4. 競技種類 個人競技
5. 進 行 予選・決勝・順位決定
6. 競技方法 的中制（立射・直径36cm霞的）
 - ①予 選 各自4射1回
◦2中以上の的中者を決勝進出とする。
 - ②決 勝 各自4射1回
◦予選・決勝の通算的中数により順位を決定する。
 - ③順位決定
◦決勝において、同中の場合は競射を行う。ただし、優勝が決定するまでは射詰競射を行い、2位から20位の決定は遠近競射を行う。
7. 注意事項
 - (ア) 射場区分 3人立5射場
 - (イ) 制限時間 なし（弦音打起しを心掛けること）
8. 表 彰
 - ①上位20名を表彰する。
 - ②上位18名（関東ブロック大会の日程により国民スポーツ大会選手が出場できない場合は14名）は関東高等学校弓道個人選手権大会の出場権を得る。前年度当該大会で6位以内に入賞した場合はその入賞数を加える（出場を辞退する場合は、予選終了後、速やかに本部まで申し出ること）。
 - ③優勝者に川又杯を授与する。

東京都秋季大会 (兼 全国高等学校弓道選抜大会東京都予選) (兼 関東高等学校弓道選抜大会東京都予選)

1. 期 日 令和8年10月4日(日) 女子予選
令和8年10月18日(日) 男子予選
令和8年10月24日(土) 男女決勝
2. 会 場 東京武道館 弓道場
3. 競技種目 近的競技
4. 競技種類 団体競技・個人競技
5. 進 行 1次予選(個人予選を兼ねる)・2次予選(個人決勝を兼ねる)
個人決勝(団体2次予選に進出できなかった個人のみ)・団体準決勝
団体決勝・個人順位決定戦
6. 競技方法 的中制(立射・直径36cm霞的)
団体競技は個人競技を兼ねる。個人決勝は2次予選に進出できなかった団体に所属する個人予選通過者に対して行う。
 - (ア) 団体競技
 - ① 1次予選 各自4射1回(合計12射)
 - 的中数の上位から順次16チームを2次予選進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は16チームを超えることもある。
 - ② 2次予選 各自4射1回(合計12射)
 - 1次予選・2次予選の通算的中数の上位から順次8チームを準決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は8チームを超えることもある。
 - ③ 団体準決勝 各自4射1回(合計12射)
 - 1次予選から準決勝までの通算的中数の上位から順次4チームを決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は4チームを超えることもある。
 - ④ 団体決勝 各自4射1回(合計12射)
 - 1次予選から決勝までの通算的中数で3位までの順位を決定する。同中チームがある場合は一本競射を行う。
 - (イ) 個人競技
 - ① 個人予選(1次予選と兼ねる)
 - 3中以上の的中者を決勝進出とする。
 - ② 個人決勝(1次予選通過団体に所属する個人予選通過者は2次予選と兼ねる)
 - 個人予選・個人決勝の通算的中数で10位までの順位を決定する。
 - ③ 順位決定
 - 決勝において、同中の場合は競射を行う。ただし、全国選抜大会出場権が得られる1・2位決定までは射詰競射を行い、3～10位決定は遠近競射を行う。
7. 注意事項
 - (ア) 射場区分 3人立5射場
 - (イ) 制限時間 1立6分以内とする。
 - ① 行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。
 - ② 30秒前に予鈴(1音)を、制限時間超過を確認して本鈴(2音)を鳴らす。
 - ③ 弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
 - ④ 競射については、制限時間を設けない。

8. 表 彰

- (ア) 団体競技は上位 3 チームを表彰し、個人競技は上位10名を表彰する。
- (イ) 団体競技優勝校と個人競技上位 2 名は全国高等学校弓道選抜大会の出場権を得る。
また、団体競技上位 3 校と個人競技上位 5 名は関東高等学校弓道選抜大会の出場権を得る。
ただし、3 年生及び 3 年生が含まれるチームは代表権を得ることができない。
- (ウ) 団体決勝進出チームで関東選抜大会出場校を満たせない場合は、団体準決勝敗退チームの中から、1 次予選から準決勝まで (36 射) の通算的中数の多い順に出場校を選出する。
同中の場合は一本競射を行う。
- (エ) 関東選抜が東京開催の場合、個人競技は上記に加え 5 名 (合計10名) が出場権を得る。
(ただし、3 年生は除く)

東京都新人大会 (兼 東日本高等学校弓道大会東京都予選)

1. 期 日 令和9年1月7日(木) 女子の部
令和9年1月9日(土) 男子の部
2. 会 場 東京武道館 弓道場
3. 競技種目 近的競技
4. 競技種類 団体競技・個人競技
5. 進 行 団体1次予選(個人予選を兼ねる)
団体2次予選(個人決勝を兼ねる)・個人決勝・団体決勝トーナメント
個人順位決定戦
6. 競技方法 的中制(立射・直径36cm霰的)
団体競技は個人競技を兼ねる。個人決勝は2次予選に進出できなかった団体に所属する個人予選通過者に対して行う。
 - (ア) 団体競技
 - ① 1次予選 各自4射1回(合計12射)
 - 5中以上を2次予選進出チームとする。
 - ② 2次予選 各自4射1回(合計12射)
 - 1次予選・2次予選の通算的中数上位8チームを決勝トーナメント進出チームとする。
 - 同中により8チームを超える場合は一本競射を行う。
 - トーナメント表作成のための通過順位は的中数の多い順とする(同中の場合は立順番号の早いチームを上位とする)。競射による決勝進出チームが複数ある場合も、立順番号の早いチームを上位とする。
 - ③ 決勝トーナメント 各自4射1回(合計12射)
 - 各自4射(合計12射)の的中数で勝敗を決する。同中の場合は一本競射を行う。
 - 1回戦
 - 第1試合:通過順位『1位 対 8位』 第2試合:通過順位『5位 対 4位』
 - 第3試合:通過順位『3位 対 6位』 第4試合:通過順位『7位 対 2位』
 - 準決勝
 - 第1試合:1回戦『第1試合の勝利チーム 対 第2試合の勝利チーム』
 - 第2試合:1回戦『第3試合の勝利チーム 対 第4試合の勝利チーム』
 - 決 勝
 - 準決勝『第1試合の勝利チーム 対 第2試合の勝利チーム』
 - (イ) 個人競技
 - ① 個人予選(団体競技出場者は団体1次予選と兼ねる)
3中以上の的中者を決勝進出とする。
 - ② 個人決勝(団体1次予選通過チームで個人3中以上した選手は団体2次予選と兼ねる)
個人予選・個人決勝の通算的中数で5位までの順位を決定する。
 - ③ 順位決定
決勝において、同中の場合は競射を行う。ただし、優勝決定は射詰競射を行い、2～5位決定は遠近競射を行う。
 7. 注意事項
 - (ア) 射場区分 3人立5射場
 - (イ) 制限時間 1立6分以内とする。
 - ① 行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。
 - ② 30秒前に予鈴(1音)を、制限時間超過を確認して本鈴(2音)を鳴らす。
 - ③ 弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
 - ④ 競射については、制限時間を設けない。
 8. 表 彰
 - (ア) 団体競技は上位4チーム(優勝1チーム・2位1チーム・3位2チーム)を表彰し、個人競技は上位5名を表彰する。
 - (イ) 団体競技上位2校(関東開催は3校)を東日本高等学校弓道大会に推薦する。
 - ① 決勝トーナメントの決勝進出チームで東日本大会推薦校数を満たせない場合は、決勝トーナメント準決勝進出チームの中から、予選から決勝トーナメント準決勝まで(48射)の通算的中数が多い順に出場校を選出する。同中の場合は一本競射を行う。
 - ② ①で満たせない場合は、決勝トーナメント進出チームの中から、予選から決勝トーナメント1回戦まで(36射)の通算的中数が多い順とし、それも同中の場合は一本競射を行う。
 - ③ 決勝トーナメント進出チームで東日本大会推薦校を満たせない場合は、決勝トーナメント進出をかけた一本競射での敗退チームから、通過に近い順に出場校を選出する。次いで、予選・準決勝の通算的中数の多い順に出場校を選出し、同中の場合は一本競射を行う。

東京都遠的大会（兼 紫灘旗全国高校遠的弓道大会東京都予選）

1. 期 日 令和9年2月20日(土)
2. 会 場 明治神宮 至誠館第二弓道場
3. 競技種目 遠的競技（近的競技に変更する場合有り）
4. 競技種類 団体競技・個人競技
5. 進 行 団体予選（個人予選を兼ねる）・団体準決勝（個人決勝を兼ねる）
個人決勝（団体準決勝に進出できなかった個人のみ）・団体決勝・個人順位決定
6. 競技方法 的中制（立射・直径100cm霞的）
団体競技は個人競技を兼ねる。個人決勝は団体準決勝に進出できなかった団体に所属する個人予選通過者に対して行う。
 - （ア）団体競技
 - ①団体予選 各自4射1回（合計12射）
 - 的中数の上位から順次8チームを団体準決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は8チームを超えることもある。
 - ②団体準決勝 各自4射1回（合計12射）
 - 予選から準決勝まで（24射）の通算的中数の上位から順次4チームを決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は4チームを超えることもある。
 - ③団体決勝 各自4射1回（合計12射）
 - 予選から決勝まで（36射）の通算的中数で3位までの順位を決定する。同中チームがある場合は一本競射を行う。
 - （イ）個人競技
 - ①個人予選（団体予選と兼ねる）
 - 男女とも2中以上の的中者を決勝進出とする。
 - ②個人決勝（予選通過団体に所属する個人予選通過者は団体準決勝と兼ねる）
 - 個人予選・個人決勝の通算的中数で5位までの順位を決定する。同中の場合は次項③の順位決定を行う。
 - ③順位決定
 - 決勝において、同中の場合は競射を行う。ただし、優勝決定は射詰競射を行い、2～5位決定は遠近競射を行う。
7. 注意事項
 - （ア）射場区分 3人立3射場
 - （イ）制限時間 1立6分以内とする。
 - ①行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。
 - ②30秒前に予鈴（1音）を、制限時間超過を確認して本鈴（2音）を鳴らす。
 - ③弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
 - ④競射については、制限時間を設けない。
 - （ウ）選手交代
 - ①団体選手の交代は予選時に登録した選手に限り2回まで認める。
 - ②選手交代は、招集までに監督（顧問）が本部に交代届を提出する。
 - （エ）その他
 - ①遠的矢については、当日に本専門部より貸し出しを行う。
 - ②近的競技に変更した場合に備えて近的矢も準備する。
8. 表 彰
 - （ア）団体競技は上位3校を表彰し、個人競技は上位5名を表彰する。
 - （イ）団体競技上位2校を紫灘旗全国高校遠的弓道大会に推薦する。

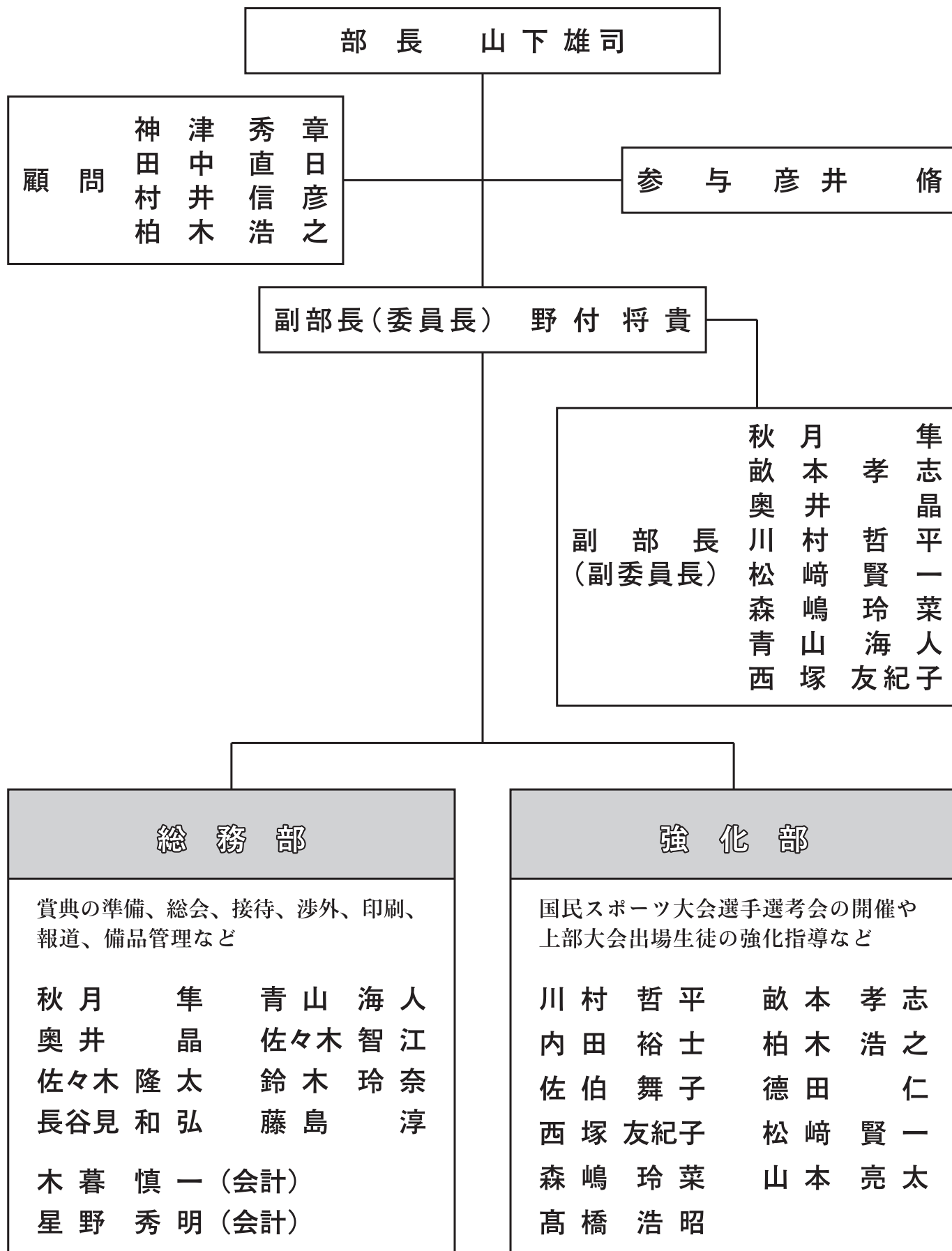
令和 8 (2026) 年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 役員表

部長	都立東高等学校	山下 雄司
顧問		神津 秀章 田中 直日 村井 彦之 柏木 浩之 彦井 脩
参与		野付 将貴
副部長(委員長)	都立桜修館中等教育学校 (高体連常任理事・都連担当)	
副部長(副委員長)	都立晴海総合高等学校 (都高体連研究部員) 東海大学菅生高等学校 都立芦花高等学校 都立芦花高等学校 都立翔陽高等学校 吉祥女子高等学校 都立江戸川高等学校 錦城高等学校	秋月 隼 奥井 晶 畝本 孝志 川本 哲平 松崎 賢一 森嶋 菜人 青山 海人 西塚 友紀子
常任委員	都立桜修館中等教育学校 英明フロンティア高等学校 (会計) 日本体育大学桜華高等学校 都立八王子東高等学校 大成高等学校 都立三田高等学校 都立美原高等学校 文化学園大学杉並高等学校 (会計) 都立小岩高等学校 城北学園城北高等学校 都立井草高等学校 日本体育大学荏原高等学校	内田 裕士 木暮 慎一 佐伯 舞子 佐々木 智江 佐々木 隆太 鈴木 奈仁 徳田 明 星野 秀太 山本 亮昭 高橋 浩和 長谷見 弘 藤島 淳平
会計監査	海城高等学校	立川 和 平

問い合わせ先

弓道専門部事務局	〒152-0023 東京都目黒区八雲 1-1-2 都立桜修館中等教育学校 内 TEL 03-3723-9966 FAX 03-3724-7041
東京都高等学校体育連盟事務局	〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1 東京都庁第二本庁舎15階 TEL 03-5320-7470
全日本弓道連盟	〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘 4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE TEL 03-6447-2980 FAX 03-6447-2981
明治神宮至誠館	〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町 1-1 TEL 03-3379-9137 (事務室)・03-5302-5865 (中央道場)
東京武道館	〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-20-1 TEL 03-5697-2111
選手登録関係	秋月 隼 (都立晴海総合高等学校) Jun_Akiduki@education.metro.tokyo.jp
国スポ選手選考会関係	川村 哲平 (都立芦花高等学校) Teppe_i_Kawamura@education.metro.tokyo.jp
大会申込関係	青山 海人 (都立江戸川高等学校) Kaito_Aoyama@education.metro.tokyo.jp
ID・プログラム関係	奥井 晶 (東海大学菅生高等学校) okui-a@tokaisugao.ac.jp
大会参加費等払込口座	東京都高等学校体育連盟弓道専門部 ゆうちょ銀行 02 東京 00130-4-707395

令和 8 (2026) 年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 組織図



令和8(2026)年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部加盟校一覧

No.	設立	学 校 名	男 女	〒	住 所	T E L	F A X
1	都立	両国高等学校	男 女	130-0022	墨田区江東橋1-7-14	03-3631-1815	03-3846-6682
2	都立	八潮高等学校	男 女	140-0002	品川区東品川3-27-22	03-3471-7384	03-3472-9840
3	都立	三田高等学校	男 女	108-0073	港区三田1-4-46	03-3453-1991	03-3453-2899
4	都立	昭和高等学校	男 女	196-0033	昭島市東町2-3-21	042-541-0222	042-546-0150
5	都立	第五商業高等学校	男 女	186-0004	国立市中3-4	042-572-0132	042-573-8794
6	都立	三鷹中等教育学校	男 女	181-0004	三鷹市新川6-21-21	0422-46-4181	0422-49-8429
7	都立	江戸川高等学校	男 女	132-0031	江戸川区松島2-38-1	03-3651-0297	03-3674-0970
8	国立	東京学芸大学附属高等学校	男 女	154-0002	世田谷区下馬4-1-5	03-3421-5151	03-3421-5152
9	私立	早稲田大学高等学院	男	177-0044	練馬区上石神井3-31-1	03-5991-4165	03-3928-4110
10	私立	日本体育大学荏原高等学校	男 女	146-8588	大田区池上8-26-1	03-3759-3291	03-3759-3614
11	私立	田園調布学園高等部	女	158-8512	世田谷区東玉川2-21-8	03-3727-6121	03-3727-2984
12	私立	日黒学院高等学校	男 女	153-8631	目黒区中目黒1-1-50	03-3711-6556	03-3713-7448
13	私立	國學院高等学校	男 女	150-0001	渋谷区神宮前2-2-3	03-3403-2331	03-3403-1320
14	私立	城北学園城北高等学校	男	174-8711	板橋区東新町2-28-1	03-3956-3157	03-3956-9779
15	私立	國學院大學久我山高等学校	男 女	168-0082	杉並区久我山1-9-1	03-3334-1151	03-3335-1233
16	私立	法政大学高等学校	男 女	181-0002	三鷹市牟礼4-3-1	0422-79-6230	0422-79-6260
17	都立	日比谷高等学校	男 女	100-0014	千代田区永田町2-16-1	03-3581-0808	03-3597-8331
18	私立	頌栄女子学院高等学校	女	108-0071	港区白金台2-26-5	03-3441-2005	03-3441-4043
19	私立	東京都立大学等々力高等学校	男 女	158-0082	世田谷区等々力8-10-1	03-5962-0104	03-3701-2197
20	私立	早稲田高等学校	男	162-8654	新宿区馬場下町62	03-3202-7674	03-3202-7692
21	私立	日本大学鶴ヶ丘高等学校	男 女	168-0063	杉並区和泉2-26-12	03-3322-7521	03-3325-0203
22	都立	小岩高等学校	男 女	133-0044	江戸川区本一色3-10-1	03-3651-2250	03-3674-1405
23	私立	駒沢学園女子高等学校	女	206-8511	稲城市坂浜238	042-350-7123	042-350-7188
24	都立	芝商業高等学校	男 女	105-0022	港区海岸1-8-25	03-3431-0760	03-3435-0240
25	私立	佼成学園高等学校	男	166-0012	杉並区和田2-6-29	03-3381-7227	03-3380-5656
26	私立	海城高等学校	男	169-0072	新宿区大久保3-6-1	03-3209-5880	03-3209-6990
27	私立	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部	男 女	185-8505	国分寺市本町1-2-1	042-300-2121	042-300-1123
28	私立	錦城高等学校	男 女	187-0001	小平市大沼町5-3-7	042-341-0741	042-345-4255
29	都立	立川国際中等教育学校	男 女	190-0012	立川市曙町3-29-37	042-524-3903	042-527-1829
30	私立	東海大学付属高輪台高等学校	男 女	108-0074	港区高輪2-2-16	03-3448-4011	03-3448-4020
31	私立	玉川学園高等部	男 女	194-8610	町田市玉川学園6-1-1	042-739-8533	042-739-8559
32	私立	立正大学付属立正高等学校	男 女	143-8557	大田区西馬込1-5-1	03-6303-7683	03-3775-1356
33	私立	東京成徳大学高等学校	男 女	114-0002	北区王子6-7-14	03-3911-5196	03-3911-2447
34	私立	文化学園大学杉並高等学校	男 女	166-0004	杉並区阿佐ヶ谷南3-48-16	03-3392-6636	03-3391-8272
35	私立	日本体育大学桜華高等学校	女	189-0024	東村山市富士見町2-5-1	042-391-4133	042-392-6424
36	都立	東高等学校	男 女	136-0074	江東区東砂7-19-24	03-3644-7176	03-3615-7463
37	私立	芝浦工業大学附属高等学校	男 女	135-8139	江東区豊洲6-2-7	03-3520-8501	03-3520-8504
38	私立	吉祥女子高等学校	女	180-0002	武蔵野市吉祥寺東町4-12-20	0422-22-8117	0422-22-9752
39	私立	大東学園高等学校(休会中)	男 女	156-0055	世田谷区船橋7-22-1	03-3483-1901	03-3483-4105
40	私立	目白研心高等学校	男 女	161-8522	新宿区中落合4-31-1	03-5996-3131	03-5996-3066
41	私立	東海大学菅生高等学校	男 女	197-0801	あきる野市菅生1817	042-559-2200	042-532-7072
42	都立	秋留台高等学校	男 女	197-0812	あきる野市平沢153-4	042-559-6821	042-558-3164
43	私立	品川女子学院高等学校	女	140-8707	品川区北品川3-3-12	03-3474-4048	03-3471-4076
44	国立	筑波大学附属高等学校	男 女	112-0012	文京区大塚1-9-1	03-3941-7176	03-3943-0848
45	私立	慶應義塾女子高等学校	女	108-0073	港区三田2-17-23	03-5427-1674	03-5427-1675
46	私立	駒場学園高等学校	男 女	155-0032	世田谷区代沢1-23-8	03-3413-5561	03-3795-9068
47	私立	多摩大学目黒高等学校	男 女	153-0064	目黒区下目黒4-10-24	03-3714-2661	03-3714-2632
48	私立	英明フロンティア高等学校	男 女	177-0051	練馬区関町北4-16-11	03-3920-5152	03-5991-0632
49	私立	科学技術学園高等学校(全日制)	男	157-8562	世田谷区成城1-11-1	03-5494-7711	03-5494-7720
50	都立	竹台高等学校	男 女	116-0014	荒川区東日暮里5-14-1	03-3891-1515	03-3891-1518
51	私立	東京実業高等学校	男 女	144-0051	大田区西蒲田8-18-1	03-3732-4481	03-3732-4456
52	都立	練馬高等学校	男 女	179-8908	練馬区春日町4-28-25	03-3990-8643	03-3926-8373
53	私立	桜美林高等学校	男 女	194-0294	町田市常盤町3758	042-797-2667	042-797-3432
54	都立	晴海総合高等学校	男 女	104-0053	中央区晴海1-2-1	03-3531-5021	03-3531-5024
55	都立	桐ヶ丘高等学校	男 女	115-0052	北区赤羽北3-5-22	03-3906-2173	03-3909-4739
56	都立	井草高等学校	男 女	177-0044	練馬区上石神井2-2-43	03-3920-0319	03-5991-0757
57	都立	つばき総合高等学校	男 女	144-8533	大田区本羽田3-11-5	03-5737-0151	03-5737-0154
58	都立	芦花高等学校	男 女	157-0063	世田谷区粕谷3-8-1	03-5315-3322	03-3305-8180
59	都立	新宿高等学校	男 女	160-0014	新宿区内藤町11-4	03-3354-7411	03-3225-4402
60	都立	杉並総合高等学校	男 女	168-0073	杉並区下高井戸5-17-1	03-3303-1003	03-3303-7751
61	都立	翔陽高等学校	男 女	193-0944	八王子市館町1097-136	042-663-3318	042-663-3362
62	私立	明星学園高等学校	男 女	181-0002	三鷹市牟礼4-15-22	0422-48-6221	0422-41-6091
63	私立	開成高等学校	男	116-0013	荒川区西日暮里4-2-4	03-3822-0743	03-3822-4558
64	都立	美原高等学校	男 女	143-0012	大田区大森東1-33-1	03-3764-3883	03-3764-3854
65	私立	新渡戸文化高等学校	男 女	164-8638	中野区本町6-38-1	03-3381-0408	03-3381-0508
66	私立	大成高等学校	男 女	181-0012	三鷹市上連雀6-7-5	0422-43-3196	0422-47-6302
67	都立	葛飾総合高等学校	男 女	125-0035	葛飾区南水元4-21-1	03-3607-3878	03-3826-1923
68	都立	桜修館中等教育学校	男 女	152-0023	目黒区八雲1-1-2	03-3723-9970	03-3723-9980
69	私立	郁文館高等学校	男 女	113-0023	文京区向丘2-19-1	03-3828-2206	03-3828-1261
70	私立	宝仙学園高等学校	男 女	164-8628	中野区中央2-28-3	03-3371-7109	03-3371-7144
71	都立	世田谷総合高等学校	男 女	157-0076	世田谷区岡本2-9-1	03-3700-4771	03-3700-0866
72	私立	駿台学園高等学校	男 女	114-0002	北区王子6-1-10	03-3913-5735	03-3912-2810
73	私立	昭和第一高等学校	男 女	113-0033	文京区本郷1-2-15	03-3811-0636	03-3814-7985
74	都立	瑞穂農芸高等学校	男 女	190-1211	西多摩郡瑞穂町石畑2027	042-557-0142	042-556-2439
75	都立	八王子東高等学校	男 女	192-8568	八王子市高倉町68-1	042-644-6996	042-642-2641
76	都立	青梅総合高等学校	男 女	198-0041	青梅市勝沼1-60-1	0428-22-7604	0428-22-7624
77	都立	忍岡高等学校	男 女	111-0053	台東区浅草橋5-1-24	03-3863-3131	03-3863-3153
78	私立	芝国際高等学校	女	108-0014	港区芝4-1-30	03-3451-0912	03-3451-0902
79	私立	科学技術学園高等学校(通信制)	男 女	157-8562	世田谷区成城1-11-1	03-5494-7711	03-3416-4106
80	私立	東京女子学園高等学校	女	108-0014	港区芝4-1-30	03-3451-0912	03-3451-0902

高

令和8(2026)年度

大会立順票

立順番号

学校番号

性別

学校名	
監督名	
チーム名	A B C D E F ()

顧問印	
-----	-------------------------------------------------------------------------------------

立	氏名	学年									
1											
2											
3											
4											
5											
補											
			チーム合計		チーム合計		チーム合計		チーム合計		

注意 ① () 内の大会の個人の部は一人1枚使用すること (関東予選・総合体育大会・個人選手権大会)
②顧問の捺印のないものは無効
③A4用紙に印刷すること (A4用紙1枚につき立順票は二部出力。切り取って使用すること)
東京都高等学校体育連盟弓道専門部

高

令和8(2026)年度

大会立順票

立順番号

学校番号

性別

学校名	
監督名	
チーム名	A B C D E F ()

顧問印	
-----	---------------------------------------------------------------------------------------

立	氏名	学年									
1											
2											
3											
4											
5											
補											
			チーム合計		チーム合計		チーム合計		チーム合計		

注意 ① () 内の大会の個人の部は一人1枚使用すること (関東予選・総合体育大会・個人選手権大会)
②顧問の捺印のないものは無効
③A4用紙に印刷すること (A4用紙1枚につき立順票は二部出力。切り取って使用すること)
東京都高等学校体育連盟弓道専門部

20 年 月 日

東京都高等学校体育連盟弓道専門部 委員長 殿

選手交代届

学校番号 _____

学校名 _____

監督名 _____

(男子・女子) (該当する箇所に○印をつけて下さい)

立順番号 ()番

次の通り、選手を交代します。(交代のある選手のみ記入して下さい)

立	交代前	交代後
一		
二		
三		
四		
五		

提出期限：招集前まで

提出先：本部